



デジタル プロジェクター 取扱説明書

CinePrime シリーズ | W4000i/HT4550i

V 1.01

保証と著作権について

限定保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の欠陥に対して保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間内に本製品に欠陥が見つかった場合、BenQ の保証範囲は欠陥部品の交換（工賃を含む）に限定されます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：BenQ が取扱説明書等で規定している通常の使用の範囲外で使用された場合、上記の保証は無効となります。特に湿度が 10% から 90% の範囲で、温度は 0°C から 35°C の間、高度は 1500m 以下で使用いただき、埃の多い環境でのプロジェクターの使用は避けてください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

詳細は、弊社ホームページ www.BenQ.com をご覧ください。

著作権

Copyright 2023 by BenQ Corporation. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁氣的、光学的、化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピューター言語への翻訳を行うことはできません。

おことわり

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。さらに、BenQ コーポレーションは本書を改定する権利と、このような改定や変更についていかなる人物に対しても通知する義務を負うことなく内容を変更できる権利を有しています。

*DLP、Digital Micromirror Device、および DMD は、Texas Instruments の商標です。その他の著作権は各社または各組織に帰属します。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

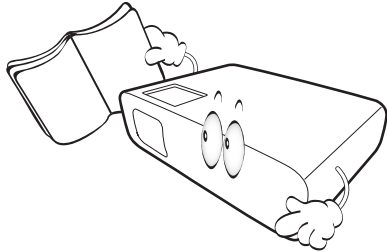
目次

保証と著作権について	2
安全にお使いいただくために	4
はじめに	7
同梱物	7
メディアストリーミング端末 (QS02) の取り付け	8
プロジェクター外観	9
入出力端子	10
操作と機能	11
プロジェクターの配置	14
設置場所の選択	14
スクリーンサイズの調整	15
プロジェクターの取り付け	16
プロジェクターの位置を設定する	18
投写画像の調整	19
接続	21
操作	22
プロジェクターの起動	22
メディアストリーミング端末 (QS02) の設定	25
メニューの使用方法	27
プロジェクターの保護	28
入力信号の切り替え	28
メディアリーダーから再生を行う	29
インターネットを介してプロジェクターを接続する	30
ファームウェアのアップグレード	31
プロジェクターをシャットダウンする	32
メニューの操作	33
基本メニュー	33
詳細設定メニュー	34
メンテナンス	51
プロジェクターのお手入れ	51
光源情報	52
トラブルシューティング	54
仕様	55
プロジェクターの仕様	55
外形寸法	56
タイミングチャート	57
RS232 コマンド	59

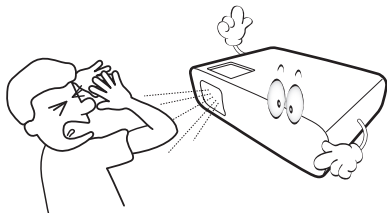
安全にお使いいただくために

お使いのプロジェクターは、情報機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本製品を安全にご使用いただくために、このガイドおよび製品のマークに記載されている指示に従ってください。

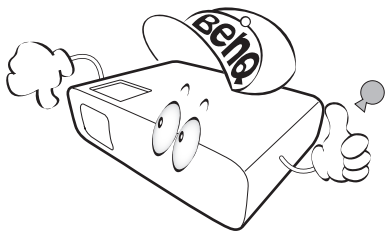
1. プロジェクターを操作する前に、この取扱説明書をお読みください。またいつでも参照できるように、手の届く場所に保管しておいてください。



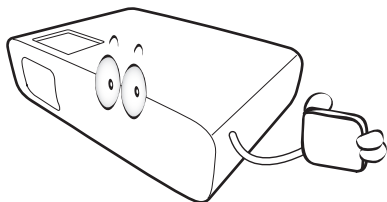
2. 動作中は、プロジェクターのレンズを覗き込まないでください。強い光線なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。



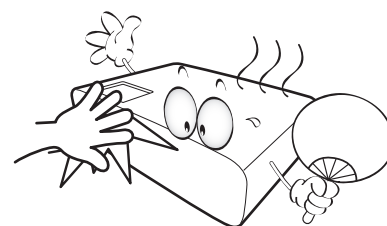
3. 点検修理については、サポートセンターにお問い合わせください。



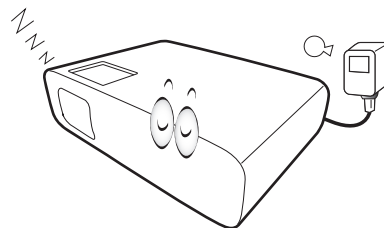
4. プロジェクターの光源をオンにするときは、必ずレンズシャッター（ある場合）を開くか、レンズキャップ（ある場合）を取り外してください。



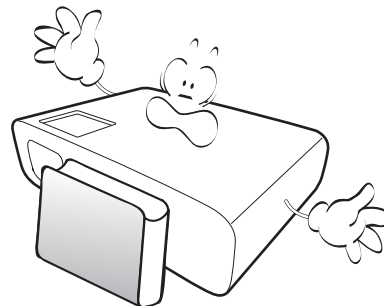
5. 光源は動作中に非常に高温になります。



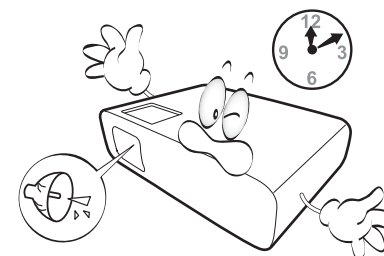
6. 国によっては、電源電圧が不安定な場合もあります。プロジェクターは、電源がAC 100 ~ 240 V の電圧範囲のときに安全に作動するように設計されていますが、停電や ± 10 V のサージが発生すると故障する可能性があります。電源の電圧が変動したり、電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージプロテクタ、または無停電電源装置 (UPS) にプロジェクターを接続することをお勧めします。



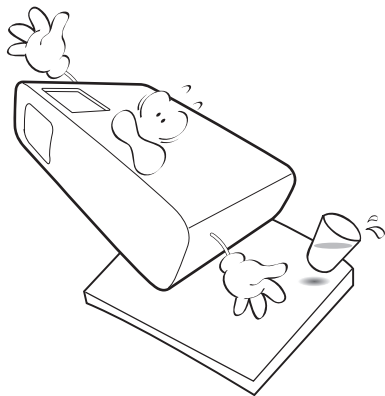
7. プロジェクターが作動しているときに投写レンズを物体で塞ぐと、それが過熱して変形したり、火災の原因となったりします。光源を一時的にオフにするには、Eco Blank ボタンを押します。



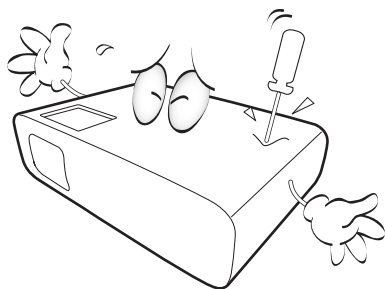
8. 定格寿命より長く光源を使用しないでください。



9. 本製品は安定した場所に設置してください。本製品が落下して、破損する恐れがあります。

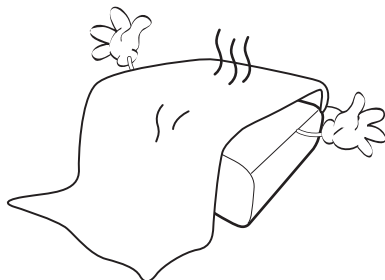


10. 本プロジェクターを分解しないでください。内部には危険な電圧が流れており、触れると死に至る場合もあります。いかなる場合でも、カバーをご自身で取り外そうとしないでください。修理はサポートセンターにお問い合わせください。



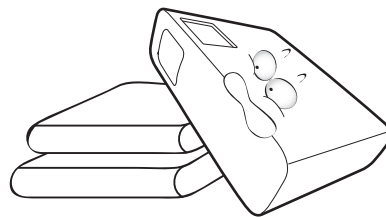
11. 通気口をふさがないでください。

- 本製品をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
- 本製品の上に布などをかぶせないでください。
- プロジェクターの近くに可燃物を置かないでください。

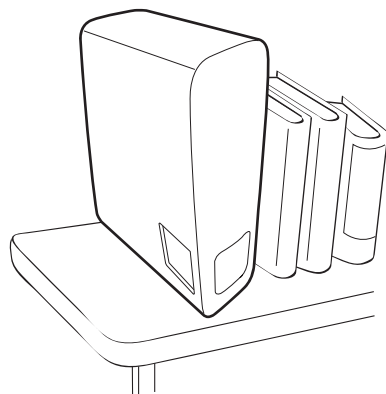


通気口がふさがれると、プロジェクターの内部が過熱し、火災が発生することがあります。

12. 使用時は必ずプロジェクターを水平な平面上に置いてください。



13. プロジェクターを縦向きにしないでください。縦向きにするとプロジェクターが倒れ、けがをしたり、プロジェクターが破損したりする恐れがあります。

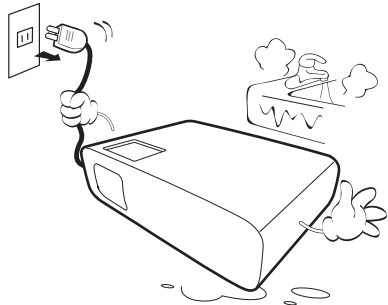


14. プロジェクターの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。プロジェクターが物理的に破損するだけでなく、事故やけがの原因になります。

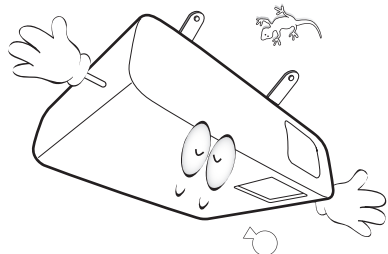


15. プロジェクターが作動しているときには、通気口から熱風と臭気を感じる場合があります。これは正常な状態であり、製品の欠陥によるものではありません。

16. プロジェクターの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクター内部に液体が入り込むと故障の原因になります。万一プロジェクター内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて BenQ サポートセンターにご連絡ください。



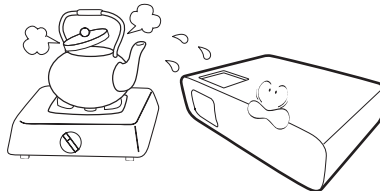
17. 本製品を天井に取り付けて、映像を反転投写することができます。



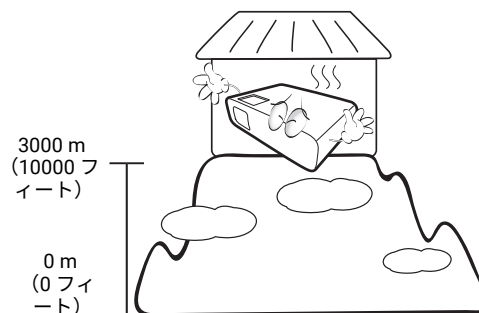
18. このプロジェクターは接地されていなければなりません。

19. 次の場所に装置を置かないでください。

- 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を 50 cm 以上空けて、プロジェクターの周辺の風通しをよくしてください。
- 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
- 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクターの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



- 火災報知器に近い場所。
- 周辺温度が 40°C / 104°F を超える場所。
- 高度が 3000 メートル（10000 フィート）を超える場所。



リスクグループ 2

1. 光源と光源システムの光生物学的安全分類によると、この製品はリスクグループ 2、IEC 62471-5:2015 とされています。
2. この製品からは、光放射が放出される可能性があります。
3. 作動中の光源を見つめないでください。視覚障害を起こす可能性があります。
4. 他の光源同様、直接光線を見つめることはお止めください。

RG2



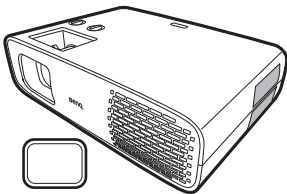
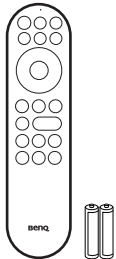
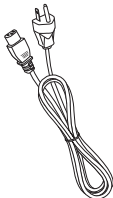
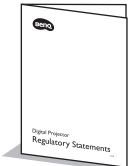
DLP チップの故障の原因となりますので、投写レンズに高性能レーザー光線を当てないでください。

はじめに

同梱物

丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

同梱品

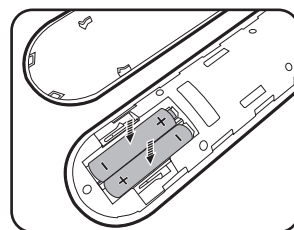
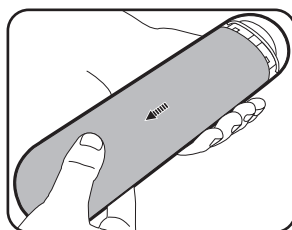
			
プロジェクター	リモコン（電池付き）	電源コード	メディアストリーミング端末 (QS02)
			
クイックスタートガイド	規制に関する声明	保証書	



同梱のアクセサリ類は日本仕様のものであり、本書の図とは異なる場合があります。

リモコンの電池の交換

- 図に示すとおり、電池カバーを一旦押してからスライドさせます。
- 古い電池を取り出して（該当する場合）、2個のAAA（単4）電池を挿入します。図に示すとおり、極性に注意してください。
- 電池カバーをカチッという音がするまでスライドして元に戻してください。

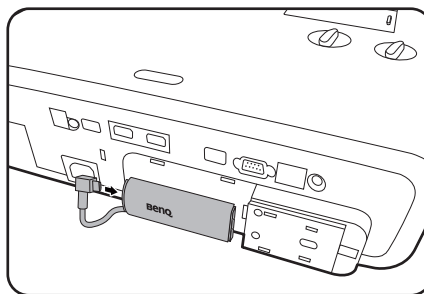
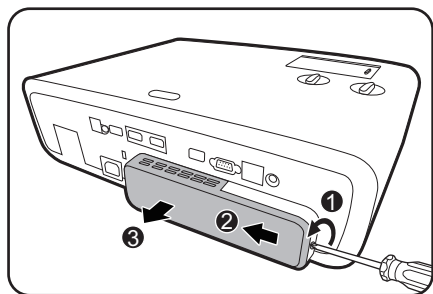


- ・リモコンや電池は台所、浴室、サウナ、サンルーム、車内など高温多湿の場所に放置しないでください。
- ・電池メーカーが推奨するものと同じか、または同種の電池以外は使用しないでください。
- ・また、使用済みの電池はメーカーの指示および地域の環境規定にしたがって処分してください。
- ・電池を火の中に投げ込まないでください。爆発の危険性があります。
- ・電池が完全に消耗してしまったり、またはリモコンを長期間使用しないときには、液漏れによりリモコンが破損しないように電池は外しておいてください。

メディアストリーミング端末 (QS02) の取り付け

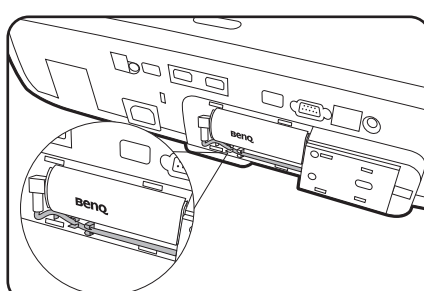
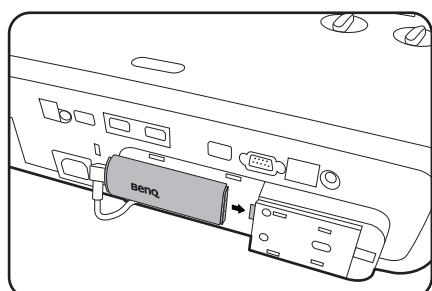
付属のメディアストリーミング端末 (QS02) は Android TV 用の HDMI ドングルであり、プロジェクターと一緒に使用します。HDMI ドングルの取り付けについては、下記の説明をお読みください。接続後、プロジェクターで多くの番組をお楽しみいただけるようになります。

1. プロジェクターの電源がオフになっており、電源コードも外してあることを確認してください。
2. プロジェクターカバーを固定しているネジ①を緩める。カバーをスライドさせて外す②③。
3. USB Micro-B ケーブルを HDMI ドングルに接続する。

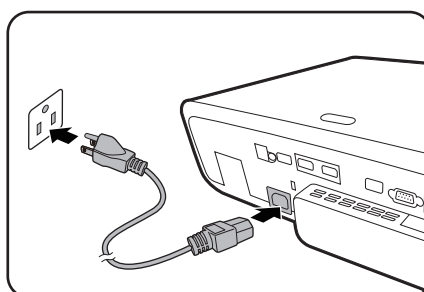
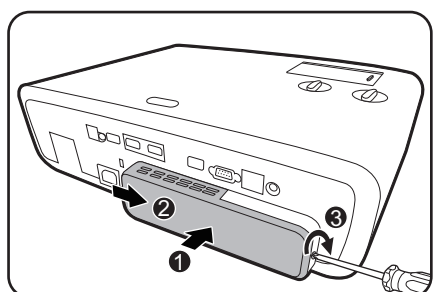


4. HDMI ドングルをプロジェクターの HDMI* ポートに接続する。
5. USB Micro-B ケーブルを HDMI ドングルの下に固定する。

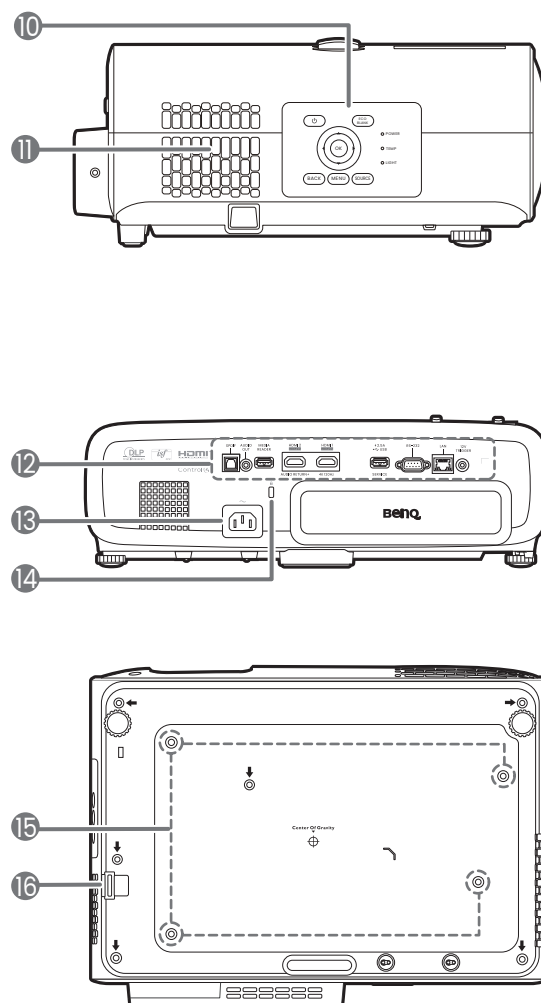
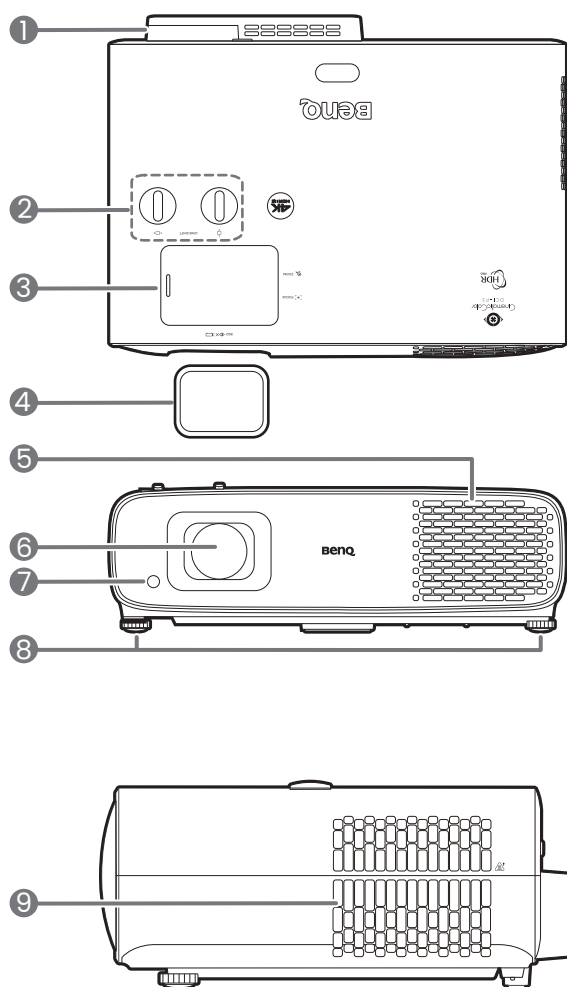
* この HDMI ポートはメディアストリーミング端末 (QS02) 専用のポートです。



6. プロジェクターカバー①②を戻す次に、ネジ③を締めます。
7. 電源コードをプロジェクターに接続して電源を入れます。Ⓢ/SOURCE を押して **Android TV** を選択します。



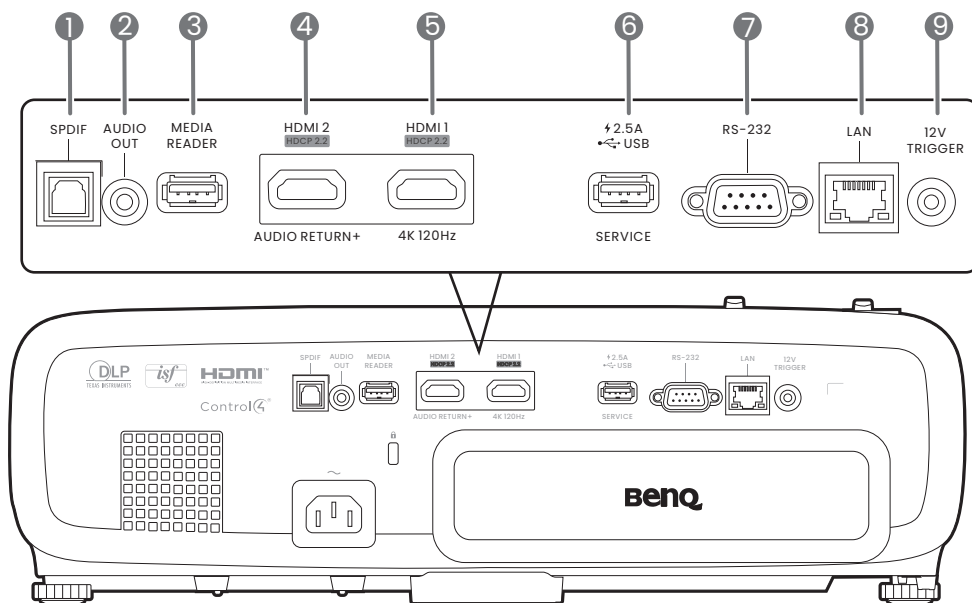
プロジェクター外観



1. メディアストリーミング端末 (QS02)
(Android TV HDMI ドングル)
カバーを取り外す方法は、[8 ページの「メディアストリーミング端末 \(QS02\) の取り付け」](#)をご参照ください。
2. レンズシフト調整用つまみ
(◀□▶ 左／右、▲□▼ 上／下)
3. スライド式カバー
(内部にズームリングとフォーカスリング)
4. レンズカバー
5. 通気口 (吸気口)
6. 投写レンズ
7. 赤外線センサー
8. 高さ調整脚
9. 通気口 (排気口)

10. 本体操作ボタン
[11 ページの「操作と機能」](#)を参照してください。
11. 入出力端子
[10 ページの「入出力端子」](#)を参照してください。
12. スピーカー グリル
13. AC 電源端子
14. Kensington 盗難防止用ロックスロット
15. 天井取り付け穴
16. 盗難防止セキュリティバー

入出力端子



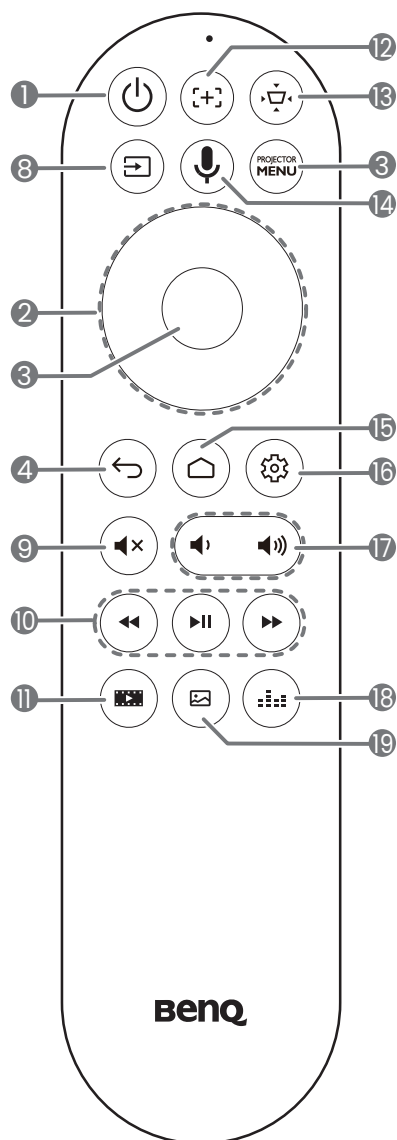
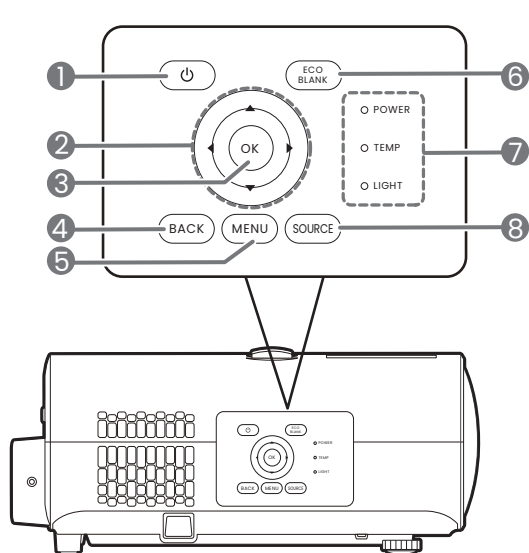
1. S/PDIF オーディオ出力ポート
2. オーディオ出力 (3.5mm)
3. USB 2.0 Type-A ポート (MEDIA READER)
マルチメディアファイルを読み取るための USB フラッシュドライブに接続します。29 ページの「メディアリーダーから再生を行う」を参照してください。
4. HDMI 入力ポート (バージョン 2.0)
5. HDMI 入力ポート (バージョン 2.0)
6. USB 2.0 Type-A ポート (2.5 A 電源供給、ファームウェアアップグレード用)
7. RS-232 制御ポート
8. RJ-45 LAN 入力ジャック (10/100M)
9. 12V DC 出力端子
電動スクリーンやライトの光量調整など他のデバイスを連動して動作させるためのトリガー用ポートです。

操作と機能

本体操作ボタンとリモコン



本書で説明するキーはすべて、リモコンまたはプロジェクターにあります。



1. 電源

スタンバイと電源オンの状態を切り替えます。

2. 矢印キー (▲、▼、◀、▶)

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューまたは Android TV メニューが有効な場合、これらのキーを方向指示のボタンとして使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。

OSD および Android TV メニューが無効の時には、CEC 対応デバイスでのみ使用できます。

3. OK

- 選択した Android TV またはオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューのアイテムを確定します。

- Android TV メディア再生では、映像やオーディオ ファイルを再生、または一時停止します。

4. BACK/◀

前の OSD メニューに戻ったり、終了してメニュー設定を保存します。

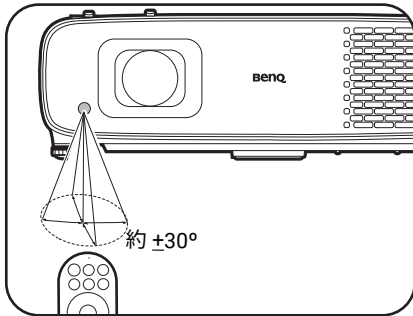
5.  / 
オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューをオン / オフにします。
6. 
映像を消画するために使用します。
7.  投写中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し、火災の原因となり危険です。
7. **POWER/TEMP/LIGHT** 状態インジケータ
53 ページの「インジケータ」を参照してください。
8. **SOURCE** / 
入力切替を表示します。
9. 
プロジェクター音声のオン / オフを切り替えます。
10.   
Android TV ソースで、マルチメディアファイルの巻き戻し、再生 / 一時停止、早送りを行います。
11. 
FILMMAKER MODE に切り替えます。
12. 
オートフォーカス機能の画面を開く、または閉じます。
* 互換性のあるプロジェクターでのみ使用可能です。
13. 
台形補正メニューを表示します。詳細は、20 ページの「台形補正」を参照してください。
14. 
押したままにすると、音声アシスタントまたは音声検索が有効になります。音声アシスタントを使うときは、このキーを押してリモコンの上にあるマイクロフォンに向かって話します。
15. 
Android TV のホーム画面が開きます。
16. 
Android TV ソースから現在のアプリケーションの設定メニューを開きます。
17. 
プロジェクターの音量を調整します。
18. 
サウンドモードメニューを表示します。
19. 
ピクチャモードメニューを表示します。

リモコンの有効範囲

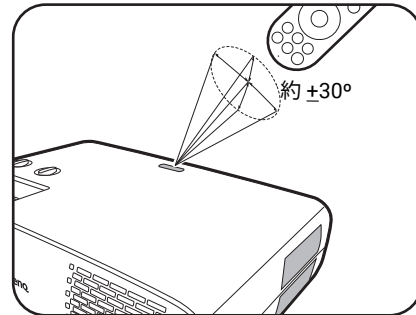
リモコンはプロジェクターの赤外線センサーに対して垂直に 30 度以内の角度に持たなければ、正しく作動しません。リモコンとセンサーの距離は、8 メートル（～26 フィート）以内でなければなりません。

リモコンとプロジェクターの赤外線センサーの間に障害物があると、赤外線が届かない場合があります。

- ・正面からプロジェクターを操作する



- ・上からプロジェクターを操作する



プロジェクターの配置

設置場所の選択

プロジェクターの設置場所を決める際には、次のことに配慮してください。

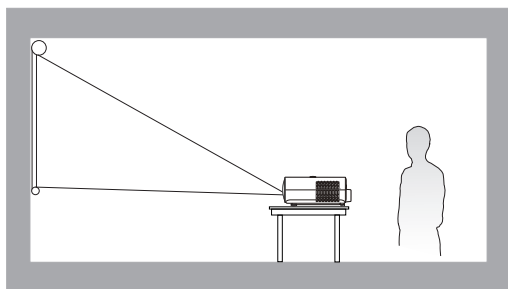
- スクリーンのサイズと位置
- コンセントの位置
- プロジェクターとその他のデバイスの間の位置と距離

投写画像のサイズと垂直方向のオフセットは、プロジェクターを設置する距離と、選択したズーム設定によって異なります。プロジェクターの正確な距離と高さを決定するために役立つ [15 ページの「投写サイズ」](#) があります。

このプロジェクターは、次の方法で設置できます。

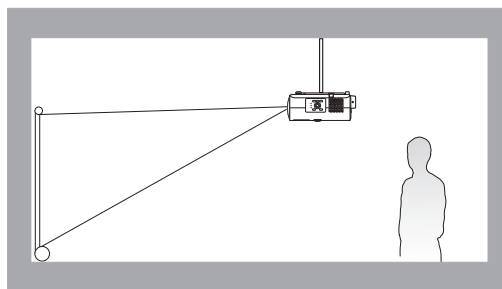
1. 正面

プロジェクターをスクリーンの正面に置いた机の上に設置します。これが最も一般的な設置方法です。



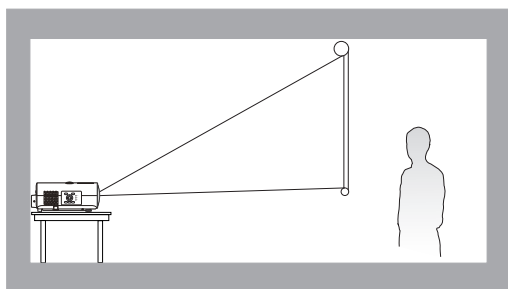
2. 天井前面投写

プロジェクターを上下逆さにスクリーン正面の天井に取り付けます。この方法で設置する場合は、BenQ のプロジェクター天吊金具をご購入ください。



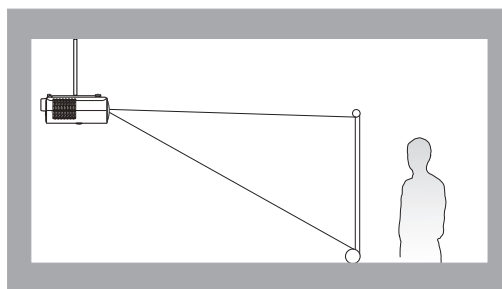
3. 背面

プロジェクターをスクリーン背面に置いた机の上に設置します。専用の背面投写スクリーンが必要です。



4. 天井背面投写

プロジェクターを上下逆さにスクリーン背面の天井に取り付けます。専用の背面投写スクリーンと BenQ のプロジェクター天吊金具が必要です。



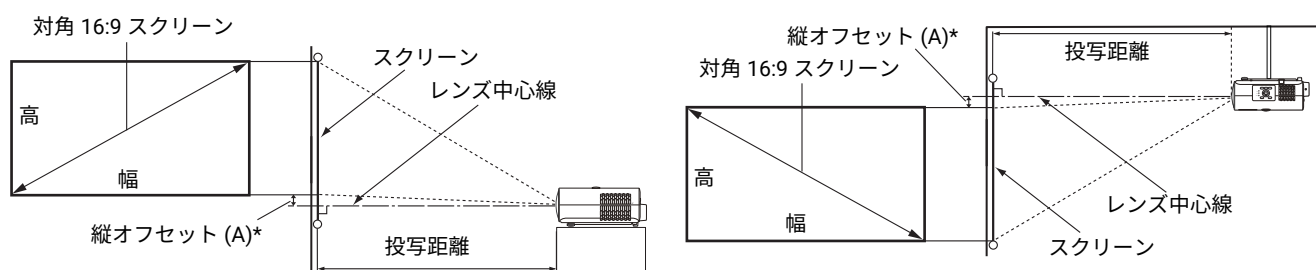
プロジェクターの電源を入れた後、自動的にプロジェクターが設置された方法に応じて適切な設定が選択されます。選択されない場合は、プロジェクターの電源を入れた後、**詳細設定メニュー - インストール > プロジェクタの投写位置**を選択して **OK** を押します。次に **◀/▶** を押して設定を選択します。

スクリーンサイズの調整

投写距離、ズーム倍率、アスペクト比により投写画面サイズは変化します。

投写サイズ

- ・スクリーンのアスペクト比は 16:9、投写画像のアスペクト比は 16:9



- ・* 縦オフセット値は、画像の下端（プロジェクターを机上に設置した場合、左図）または画像の上端（プロジェクターを天井に設置した場合、右図）からレンズ中心線までの垂直方向の距離です。
- ・レンズの光学特性上、プロジェクターには必ず垂直方向のオフセット比が存在します。縦オフセット値は、通常、投影距離が長くなるにつれて大きくなります。

スクリーンサイズ				スクリーンからの距離 (mm)			* 縦オフセット (A) (レンズの最低 / 最高位置) (mm)
対角		高 (mm)	幅 (mm)	最短	平均	最長	
インチ	mm			(最大ズーム)		(最小ズーム)	
30	762	374	664	744	860	977	37
40	1016	498	886	999	1154	1309	50
50	1270	623	1107	1253	1447	1641	62
60	1524	747	1328	1508	1740	1973	75
80	2032	996	1771	2017	2327	2637	100
95	2413	1183	2103	2399	2767	3135	118
100	2540	1245	2214	2526	2914	3301	125
110	2794	1370	2435	2781	3207	3633	137
120	3048	1494	2657	3035	3500	3965	149
130	3302	1619	2878	3290	3794	4297	162
140	3556	1743	3099	3545	4087	4629	174
150	3810	1868	3321	3799	4380	4961	187
160	4064	1992	3542	4054	4674	5293	199
170	4318	2117	3763	4308	4967	5626	212
180	4572	2241	3985	4563	5260	5958	224
190	4826	2366	4206	4817	5554	6290	237
200	5080	2491	4428	5072	5847	6622	249
250	6350	3113	5535	6345	7314	8282	311
300	7620	3736	6641	7618	8780	9942	374

たとえば、120 インチのスクリーンを使用する場合は、推奨する投写距離は 3500 mm となります。

測定した投写距離が 300 cm であったとき、「**スクリーンからの距離 (mm)**」欄の最も近い値は 2914 mm になります。同じ列を見ると、100 インチ（約 2.5 m）が必要なスクリーンであることが分かります。投影画像は、レンズ中心線より若干上 / 下になり、垂直方向に 125 mm のオフセットがあります。



投写品質を高めるために、白い行の値を参考に投写することをお勧めします。



測定値はすべておよその値であり、実際のサイズにより変わります。
プロジェクターを一定場所に固定する予定であれば、設置を行う前に実際にプロジェクターを使って投写サイズと距離を測っておかれるようお勧めします。このように準備しておくことによって、プロジェクターを最適な位置に固定することができます。

プロジェクターの取り付け

プロジェクターを取り付ける場合は、BenQ プロジェクター用の天吊金具をお使いになり、しっかりと確実に設置してください。

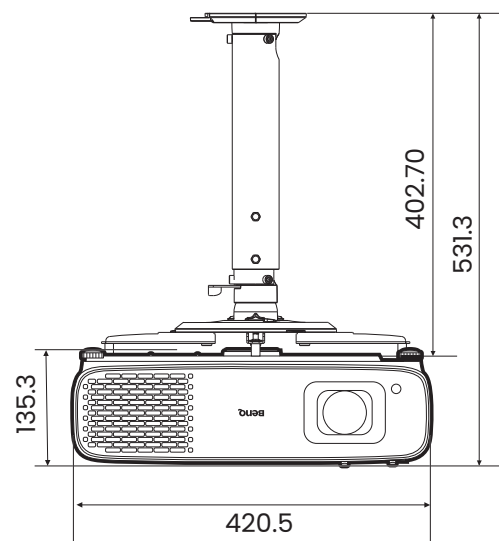
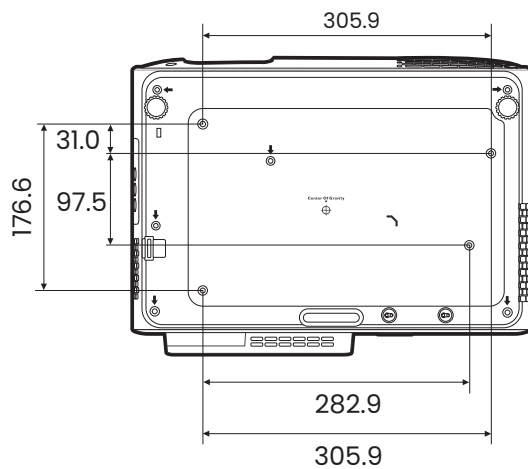
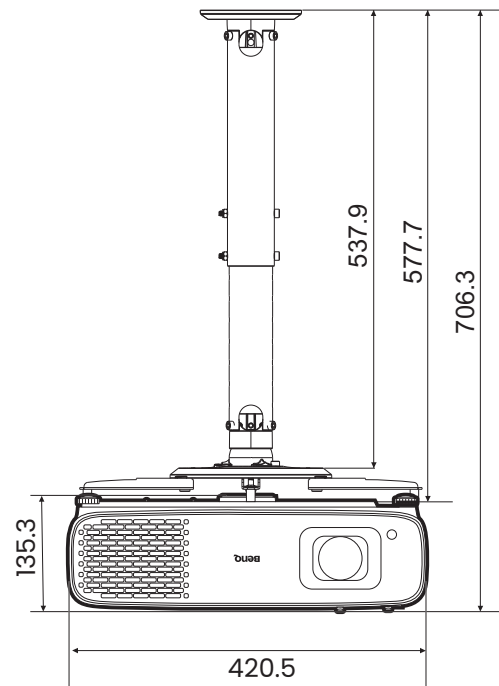
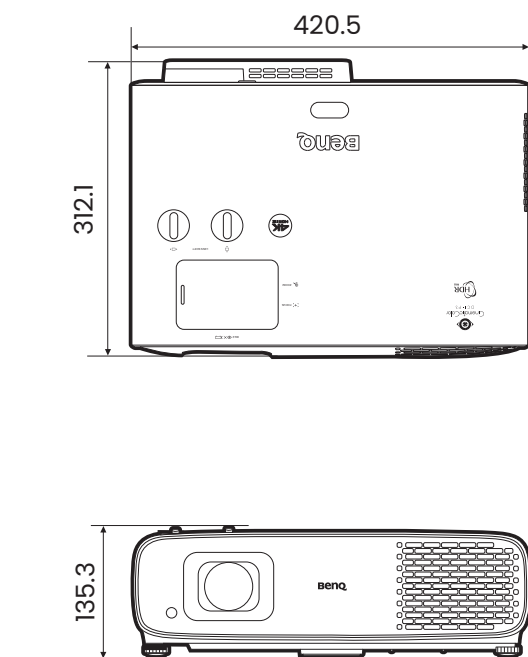
BenQ プロジェクター以外の取り付けキットをお使いになると、ゲージやネジの長さが正確でないためプロジェクターが正しく固定されず落下してしまう恐れがあります。

プロジェクターを取り付ける前に

- BenQ プロジェクター用の天吊金具は、BenQ プロジェクターを購入されたショップでご購入いただけます。
- BenQ は取り付け用ブラケットの底部とプロジェクターのセキュリティバーを固定するために、セキュリティケーブルもご使用になることをお勧めします。このようにしておくと、万一取り付け用ブラケットが緩んでしまった場合にも、プロジェクターを補助的に支えることができます。
- プロジェクターの取り付けは、販売店にご依頼ください。お客様ご自身でプロジェクターを取り付けると、落下するなどしてケガの原因となります。
- 地震などの際にプロジェクターが落下しないように、正しい手順で設置してください。
- BenQ 製以外の取り付けキットを使用して取り付けの場合は、製品が故障しても保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 天井に取り付ける場合は、周囲の温度にご注意ください。ヒーターを使用する場合は、天井周辺の温度が予想以上に高くなる場合があります。
- トルク範囲については、取り付けキットの取り扱い説明書をお読みください。推奨範囲を超えてトルクを締め付けると、プロジェクターの故障の原因となり、結果的に落下する場合があります。
- いつでも簡単にプロジェクターをシャットダウンできるように、コンセントが手に届く位置にあるか確認してください。

天井 / 壁取り付け図

天井 / 壁取り付けネジ：M4
(最長 = 25 mm、最短 = 20 mm)



単位：mm

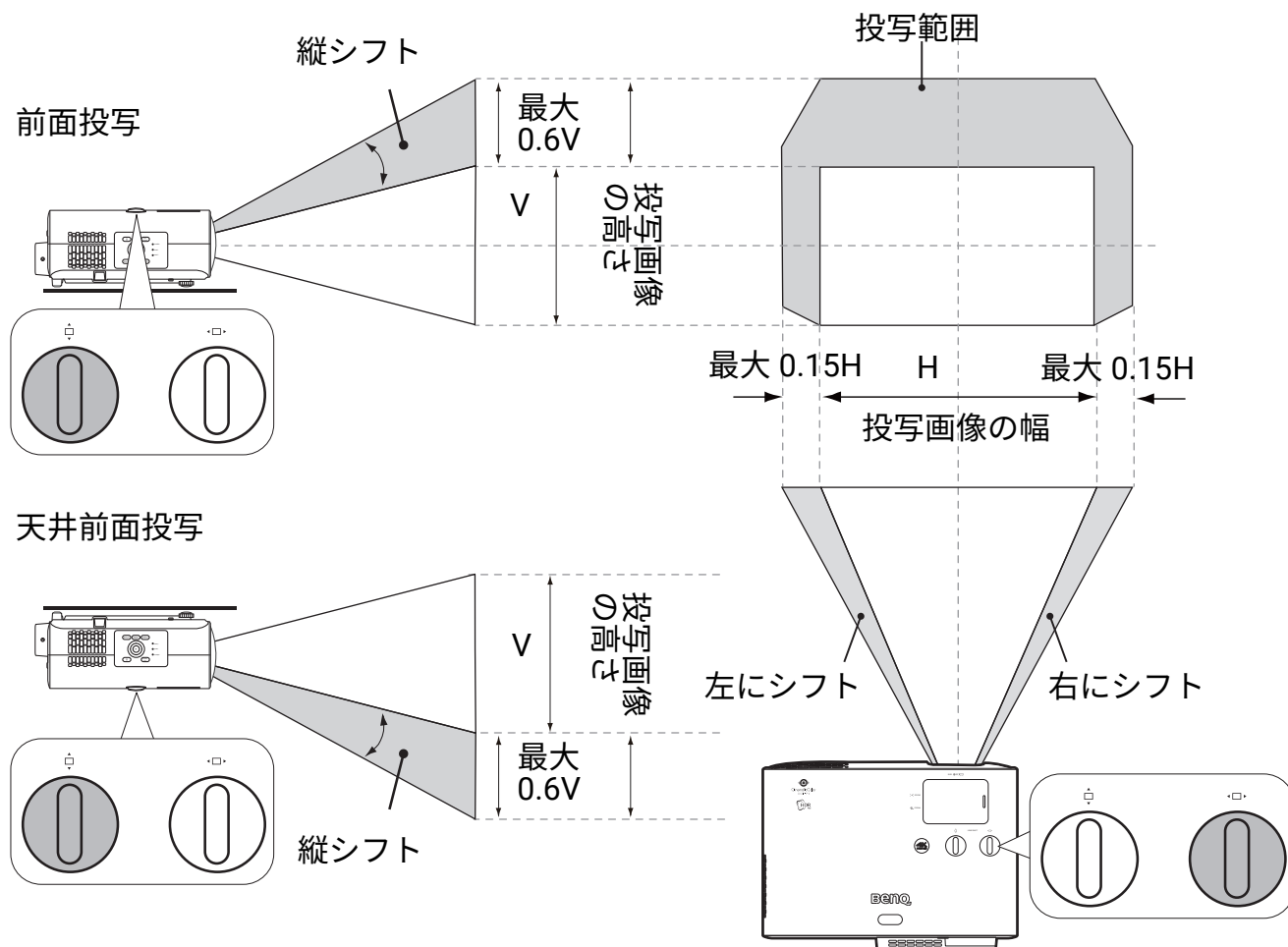
! 取り付けに問題がある場合は、取り付けキットのユーザーマニュアルを参照するか、BenQ サービスセンターまでお問い合わせください。

プロジェクターの位置を設定する

投写レンズのシフト

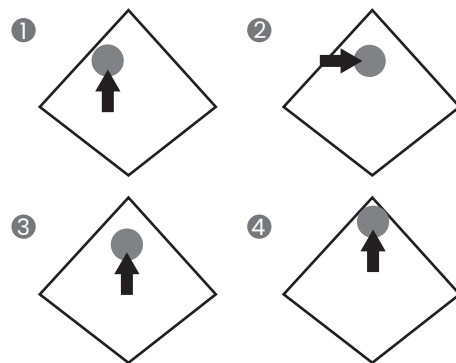
プロジェクターをより自由に取り付けられるように、レンズシフト機能が備わっています。この機能を活用すると、プロジェクターがスクリーンの中央に画像を投写するよう調整することができます。

レンズシフトは投写画像の高さまたは幅のパーセンテージにより表示されます。つまみを回すと、画像の位置によって可能な範囲でどのような方向へもシフトできます。



投写位置を最高または最低にする：

1. $\blacktriangle$ を回します（上 / 下）。
2. 限界に達したと思ったら、 $\blacktriangleleft \blacktriangleright$ を左または右に回して、再度 $\blacktriangle$ を回します。
3. 適切な位置が見つかるまで上記を繰り返してください。



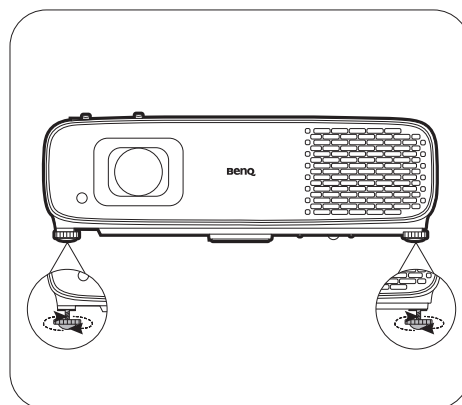
- ・レンズシフトを調整しても画質は劣化しません。
- ・カチッという音が聞こえたら、つまみが限界に達したことを意味していますので調整用つまみを回すのを止めてください。つまみを強く回すと破損する場合があります。

投写画像の調整

投写角度の調整

プロジェクターが床に対して水平な場所に設置されていない場合、またはスクリーンとプロジェクターが垂直に設置されていない場合は、投写画像が台形になります。調整脚を回して、水平角度を微調整します。

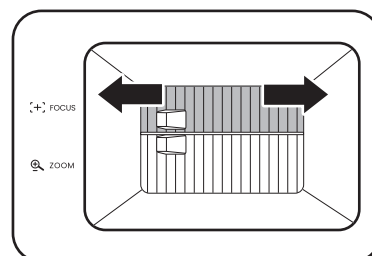
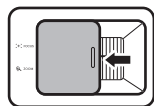
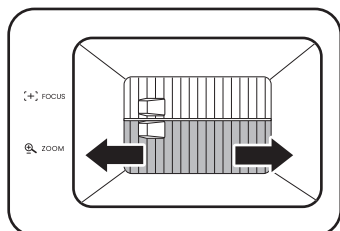
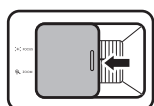
高さ調整脚を収納するには、背面調整脚のネジを反対方向に回します。



光源が点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。光源からは強い光が発されており、目を傷つける場合があります。

画像サイズと明瞭さの微調整

1. 投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。
2. フォーカスリングを回して焦点を合わせます。



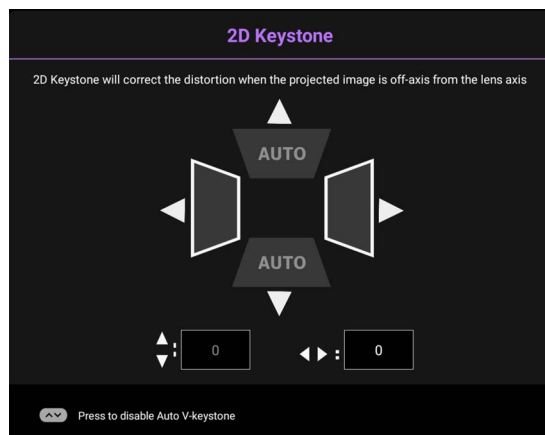
台形補正

台形効果とは、スクリーンに対しプロジェクターのレンズ面が平行でない場合に、投写された映像が台形になることをいいます。

歪んだ画像を補正する：

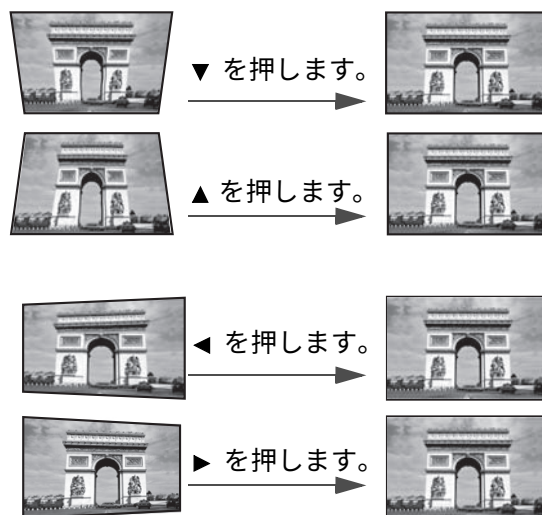
1. リモコンで  を押すか、以下のメニューから **2D キーストーン**補正ページを表示します。

- ・プロジェクターの初回セットアップ中のセットアップウィザード
- ・**基本**メニューシステム
- ・**詳細設定**メニューシステムの**インストール**メニュー



2. **2D キーストーン**ページが表示されたら：

- ・画像上部の台形歪みを補正するには、▼ を使用します。
- ・画像下部の台形歪みを補正するには、▲ を使用します。
- ・画像右側の台形歪みを補正するには、◀ を使用します。
- ・画像左側の台形歪みを補正するには、▶ を使用します。
- ・台形補正值をリセットするには、**BACK**/ を 2 秒間押します。
- ・歪んだ映像の縦方向を自動修正するには、**OK** を 2 秒間押します。



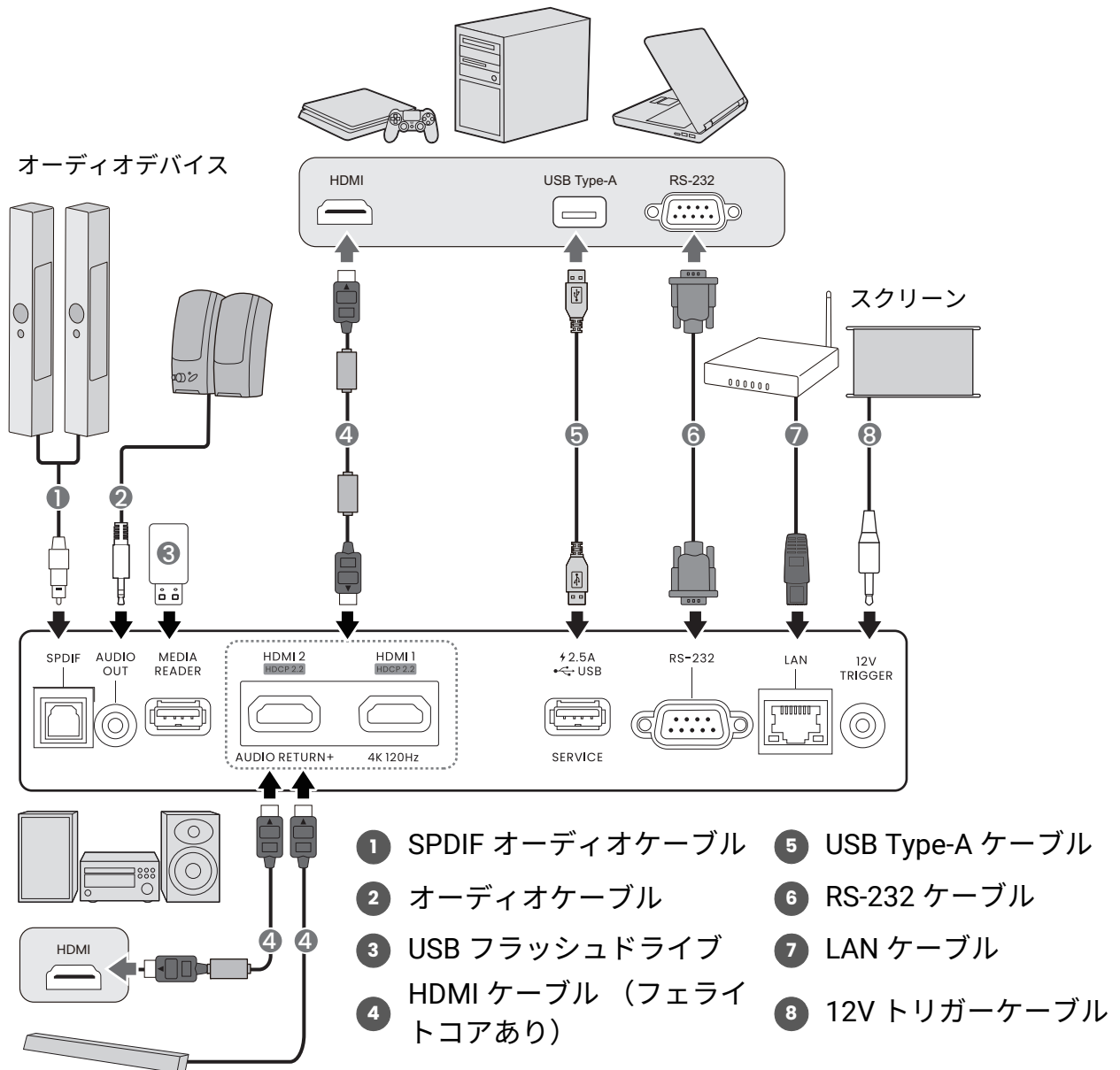
3. 完了したら、**BACK**/ を押して変更内容を保存し、終了します。

接続

信号ソースをプロジェクターに接続する際には、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべてのデバイスの電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。

ゲームコンソール / ノートパソコン / デスクトップコンピューター



- ・上に示す接続図のケーブルは、本機に付属していません（詳細は、7 ページの「同梱物」を参照してください。）ケーブルはお近くの家電量販店で求めください。
- ・接続図は参考用です。プロジェクターの背面にある入出力端子は、プロジェクターのモデル毎に異なります。
- ・ノートパソコンによっては、プロジェクターを接続しただけでは映像が外部出力されません。通常は Fn キー + モニターのアイコンが付いたファンクションキーを同時に押すと、外部出力をオン / オフすることができます。ノートパソコンのキーの組み合わせについては、ノートパソコンの説明書をお読みください。
- ・電源をオンにして正しいビデオソースが選択されているにもかかわらず、映像が表示されない場合は、映像ソースの電源が投入されていて正しく動作していることを確認してください。また信号ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

操作

プロジェクターの起動

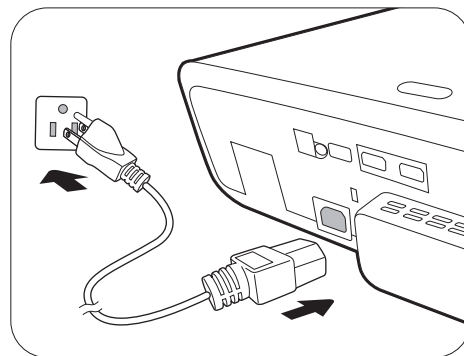
1. 電源コードを繋ぎます。コンセントのスイッチをオンにします（該当する場合）。電流が流れると、プロジェクターの電源インジケータがオレンジ色に点灯します。

2. プロジェクターまたはリモコンの  を押すと、プロジェクターが起動します。電源インジケータが緑色に点滅し、投写されると緑色に点灯します。

起動処理には約 15 秒かかります。起動処理の後半で、起動ロゴが表示されます。

必要であれば、フォーカスリングを使ってピントを調整してください。

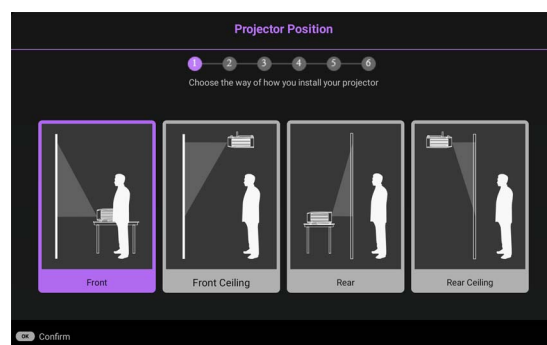
3. 初めてプロジェクターを起動すると、プロジェクターの初期設定ウィザードが開きます。すでに設定が完了している場合は、これを省略して次のステップに進んでください。
 - ・プロジェクターからリモコンの矢印キー（◀/▶/▲/▼）を使って、メニューアイテムを移動します。
 - ・**OK** を使って、選択したメニューアイテムを確定します。



ステップ 1：

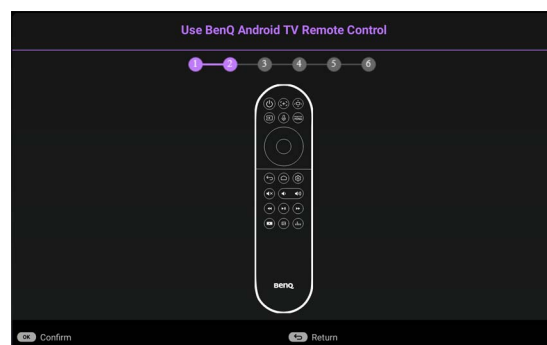
プロジェクタの投写位置を指定します。

プロジェクターの設置については、[14 ページの「設置場所の選択」](#)を参照してください。

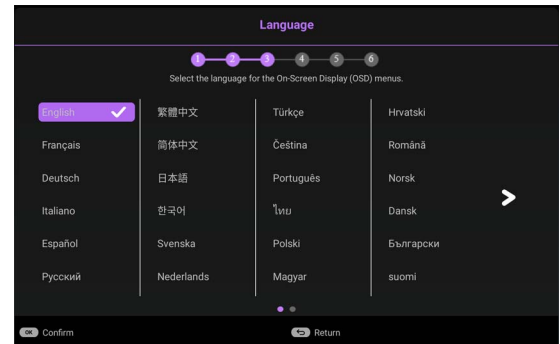


ステップ 2：

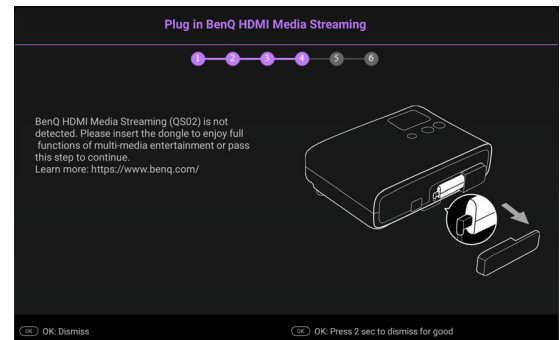
付属の BenQ Android TV リモコンの使い方についてのリマインダー



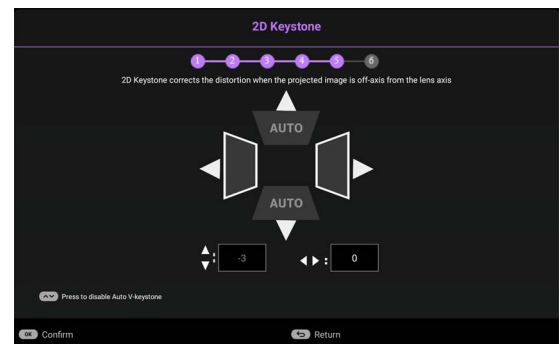
ステップ 3：
OSD 言語を決定します。



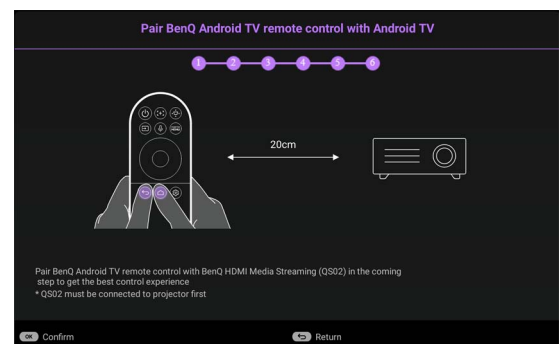
ステップ 4：
メディアストリーミング端末 (QS02) のインストールについて
このメッセージは、QS02 が検出されない場合に
表示されます。HDMI ドングルのインストールに
ついては、25 ページの「メディアストリーミ
ング端末 (QS02) の設定」をご参照ください。



ステップ 5：
2D キーストーンを指定して、自動縦キースト
ン機能を有効化します。
台形補正についての詳細は、20 ページの「台形
補正」をご覧ください。



ステップ 6：
メディアストリーミング端末 (QS02) で BenQ
Android TV リモコンをペアリングするためのリ
マインダー。



4. 接続されているすべての機器の電源をオンにします。
5. プロジェクターが入力信号の検索を開始します。現在スキャン中の入力信号が表示されま
す。プロジェクターが有効な信号を検出しない場合は、入力信号が検出されるまで「信号
なし」のメッセージが表示されます。

入力信号を選択するには、**SOURCE/**  を押してください。28 ページの「入力信号の切り替え」
を参照してください。



- ・感電や火災などの危険を防止するため、付属のアクセサリ (電源コードなど) を使用してください。
- ・プロジェクターが前回使用したときから完全に冷め切っていない場合は、約 90 秒間冷却ファンが作動
します。



- 初期設定ウィザードのスクリーンショットは参考用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。
- 入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクターの動作範囲を超えた場合、「対応範囲外」というメッセージがバックグラウンド スクリーンに表示されます。プロジェクターの解像度に合った入力信号に変えるか、入力信号を低い値に設定し直してください。57 ページの「タイミングチャート」を参照してください。
- 3 分経過しても信号が検出されなければ、プロジェクターは自動的にエコモードに入ります。

メディアストリーミング端末 (QS02) の設定

はじめる前に

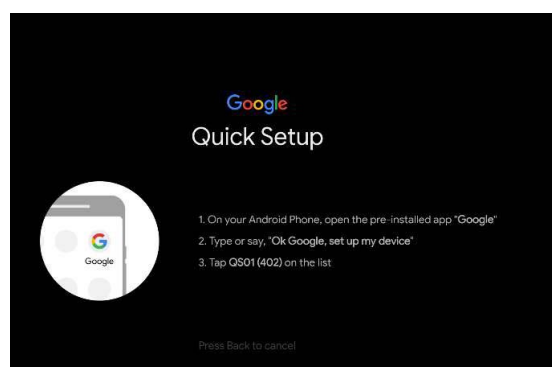
次のものが揃っていることを確認してください：

- インターネット接続できる Wi-Fi 環境
- Google アカウント

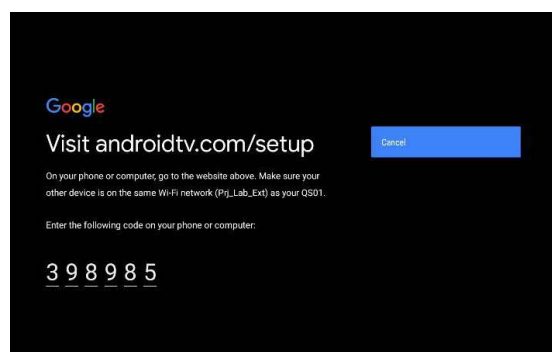
デバイスの設定

デバイスを設定するには、3 つのオプションがあります：

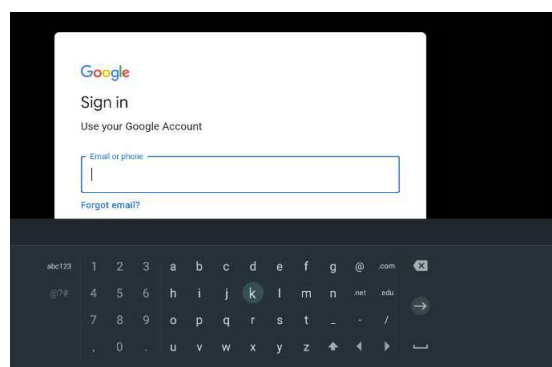
- Android 機を使用する場合のクイックセットアップ



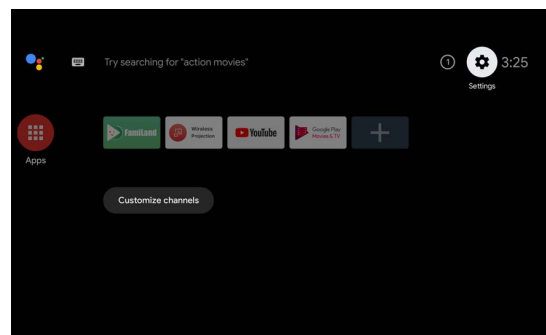
- スマートフォンまたはパソコンを使う



- リモコンを使う



Android TV ホーム画面を表示します



- ・詳細は、<https://support.google.com/androidtv/> をご覧ください。
- ・その他の操作方法については、QS02 取扱説明書をお読みください。

メニューの使用方法

このプロジェクターは、2種類のオン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。**基本 OSD メニュー**には簡易機能があり、**詳細設定 OSD メニュー**は全機能があります。

OSD メニューにアクセスするには、プロジェクターまたはリモコンの **MENU** / **PROJECTOR MENU** を押します。

- ・プロジェクターかリモコンの矢印キー (▲/▼/◀/▶) を使って、メニューアイテムを移動します。
- ・プロジェクターかリモコンの **OK** キーを押して、選択したメニュー項目を確定します。

初めてプロジェクターをお使いになる際は（初期設定終了後）、**MENU** / **PROJECTOR MENU** を押すと、**基本 OSD メニュー**が表示されます。

基本 OSD メニューから**詳細設定 OSD メニュー**に切り換えるには、次の手順に従ってください。

1. **メニュー タイプ**を選択して **OK** を押します。
2. ▲/▼ を押して**詳細設定**を選択し、**OK** を押してください。プロジェクターが**詳細設定 OSD メニュー**に切り替わります。

同様に、**詳細設定 OSD メニュー**から**基本 OSD メニュー**に切り換えるには、次の手順に従ってください。

1. **システム > メニュー設定 > メニュー タイプ**を選択して **OK** を押します。
2. ▲/▼ を押して**基本**を選択し、**OK** を押してください。プロジェクターが**基本 OSD メニュー**に切り替わります。

基本 OSD メニューの概要です。



The screenshot shows the Basic OSD Menu. At the top, it says '基本メニュー' (Basic Menu). Below this, there are several menu items: 'ピクチャモード' (Picture Mode) with 'HDR10' below it, 'サウンド モード' (Sound Mode) with 'シネマ' below it, '光源モード' (Light Source Mode) with 'SmartEco' below it, '2D キーストーン' (2D Keystone), '高速モード' (High Speed Mode) with 'オン' (On) below it, 'HDR 輝度' (HDR Brightness) with '0' below it, and 'メニュー タイプ' (Menu Type). At the bottom, there are three buttons: 'HDMI', 'OK 入力' (OK Input), and 'MENU 終了' (MENU Exit). Numbered callouts 1 through 4 point to specific elements: 1 points to the 'メニュー タイプ' item, 2 points to the 'ピクチャモード' item, 3 points to the 'HDMI' button, and 4 points to the 'MENU 終了' button.

Callout	Description
①	メニュータイプ
②	サブメニューと状態
③	現在の入力信号
④	ファンクションキー

詳細設定 OSD メニューの概要です。



The screenshot shows the Detailed OSD Menu. On the left, there is a main menu with items: 'ピクチャ' (Picture), 'オーディオ' (Audio), 'ディスプレイ' (Display), 'インストール' (Install), 'システム' (System), and '情報' (Info). The 'ピクチャ' item is selected. The main area shows the 'ピクチャモード' (Picture Mode) settings, which are currently set to 'HDR10'. Below this, there are several settings: 'ユーザー管理' (User Management) with 'オフ' (Off) below it, '高速モード' (High Speed Mode) with '50' below it, '輝度' (Brightness) with '50' below it, 'コントラスト' (Contrast) with '50' below it, '色' (Color) with '50' below it, '色調' (Color Temperature) with '50' below it, 'シャープネス' (Sharpness) with '12' below it, and '詳細色設定' (Detailed Color Setting). At the bottom, there are three buttons: 'HDMI 1', 'OK 入力' (OK Input), and 'MENU 終了' (MENU Exit). Numbered callouts 1 through 4 point to specific elements: 1 points to the 'ピクチャ' item in the main menu, 2 points to the 'HDMI 1' button, 3 points to the 'ピクチャモード' item, and 4 points to the 'MENU 終了' button.

Callout	Description
①	メイン メニュー
②	現在の入力信号
③	サブメニューと状態
④	ファンクションキー



OSD のスクリーンショットは参考用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。

プロジェクターの保護

盗難防止のために、プロジェクターは安全な場所に設置してください。または、プロジェクターを固定する為のセキュリティケーブルを購入してください。セキュリティバーは、プロジェクターの右側にあります。9 ページの項目 16 を参照してください。セキュリティバーの穴にセキュリティケーブルを通し、近くにある動かしにくい家具など重たいものに固定します。

Kensington ロックなどのロックを購入して、プロジェクターを安全に保護してください。Kensington ロック スロットはプロジェクターの背面にあります。9 ページの項目 14 を参照してください。Kensington ケーブルロックは通常キーとロックを組み合わせたものです。ご使用方法については、ロックの説明書を参照してください。

入力信号の切り替え

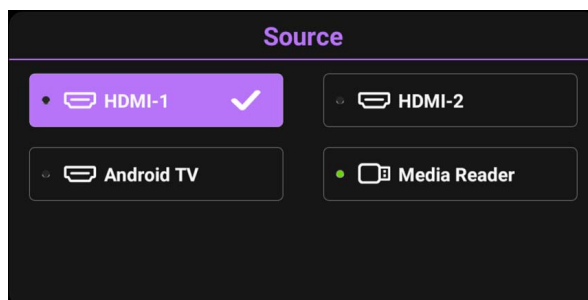
プロジェクターは同時に複数の機器に接続することができます。ただし一度に表示できる機器は 1 台です。起動時にプロジェクターは自動的に有効な信号を検出します。

プロジェクターに自動的に信号を検出させるためには、**詳細設定メニュー - ディスプレイ > 自動入力検知がオン**になっていることを確認してください。

ソースの手動選択：

1. **SOURCE/** を押します。するとソース選択バーが表示されます。
2. 任意の信号が選択されるまで **▲/▼** を押し、次に **OK** を押します。

検出されると、選択した入力源の映像が表示されます。プロジェクターに複数の機器が接続されている場合は、ステップ 1-2 を繰り返すと別の信号を検出することができます。



- 入力信号を変えると、そのたびに投写映像の輝度も変わります。
- 最高の画質を得るには、プロジェクターのネイティブ解像度で出力できる入力信号を選択、使用する必要があります。これ以外の解像度を使用すると、「アスペクト比」の設定によってプロジェクターが画像のアスペクト比を変更してしまうため、画像が歪んだり、鮮明さが失われたりします。42 ページの「アスペクト比」を参照してください。

メディアリーダーから再生を行う

本機の MEDIA READER (USB) ポートからは、本機に接続されている USB フラッシュドライブに保管された画像や文書ファイルを参照できます。この機能を使用することによって、パソコンの入力が不要になります。

対応ファイル形式

音楽	動画	画像
• MP3 (.mp3) • MP2 (.mp2) • M4A (.m4a) • Lossless (.flac) • WAV (.wav)	• AVI (.avi) • MOV (.mov) • MPEG プログラムストリーム (.mpg、.mp4) • 3GP (.3gp、.3g2) • ASF (.asf) • VOB (.vob) • DAT (.dat) • TS (.ts) • MPEG-4 (.m4v) • FLV (.flv)	• JPG/JPEG • BMP • PNG

ファイルの表示

1. USB フラッシュドライブを本機の背面にある **MEDIA READER** ポートに接続します。
2. **SOURCE** を押して、**メディアリーダー** を選択します。内蔵されたメディアリーダーのメインページが開きます。
3. **▲/▼** を押してファイル形式を選択し、**▶** を押してローカルディスク デバイスを表示します。
4. 表示したいフォルダまたはファイルを選択し、**OK** を押します。
5. ファイルを表示した後、**OK** を押して機能バーを表示します。**◀/▶** を押して機能を選択し、**OK** を押して選択した項目を有効にします。

インターネットを介してプロジェクターを接続する

DHCP 環境の場合：

1. RJ45 ケーブルでプロジェクターの RJ45 LAN 入力ジャックと RJ45 ポートを接続してください。



RJ45 ケーブルを接続するときには、ノイズや中断が生じるため巻いたり、絡ませたりしないでください。

2. メニューの種類が**詳細設定**であることを確認します。**詳細設定** OSD メニューに切り替える方法については、[27 ページの「メニューの使用法」](#)をお読みください。
3. **詳細設定メニュー - システム > インストール**を選択します。
4. **シリアルポート設定 > ポート選択 > LAN**をハイライトして、**OK**を押します。**BACK/⏮**を押して、**ネットワーク設定**ページに戻ります。
5. **有線 LAN**をハイライト表示し、**OK**を押します。すると**有線 LAN**ページが表示されます。
6. **▲/▼**を押して、**DHCP**を選択し、次に **◀/▶**を押して**オン**を選択してください。
7. **▲/▼**を押して、**適用**を選択し、次に **OK**を押してください。
8. **ネットワーク設定**ページに戻ります。
9. **▲/▼**を押して、**AMX デバイス検索**を選択し、次に **◀/▶**を押して**オン**または**オフ**を選択してください。**AMX デバイス検索がオン**のときには、プロジェクターを AMX コントローラで検出することができます。
10. 15 - 20 秒ほどお待ちになると、**有線 LAN**ページが再度開きます。
11. すると **IP アドレス**、**サブネットマスク**、**既定のゲートウェイ**および **DNS サーバー** 設定が表示されます。**IP アドレス**列に表示される IP アドレスを書き留めておいてください。



それでも **IP アドレス**が表示されない場合は、ITS 管理者にお問い合わせください。

非 DHCP 環境の場合：

1. 上記のステップ 1-5 の手順に従ってください。
2. **▲/▼**を押して、**DHCP**を選択し、次に **◀/▶**を押して**オフ**を選択してください。
3. ITS 管理者から **IP アドレス**、**サブネットマスク**、**既定のゲートウェイ**、**DNS サーバー** 設定などの情報を取得してください。
4. **▲/▼**を押して調整したいアイテムを選択し、**OK**を押します。
5. **◀/▶**を押してカーソルを動かし、**▲/▼**を押して値を入力します。
6. 設定を保存するには、**OK**を押します。
7. **▲/▼**を押して、**適用**を選択し、次に **OK**を押してください。
8. **BACK/⏮**を押して**有線 LAN**ページに戻り、**▲/▼**を押して **AMX デバイス検索**を選択します。次に、**◀/▶**を押して**オン**または**オフ**を選択します。
9. **BACK/⏮**を押すとメニューが終了します。

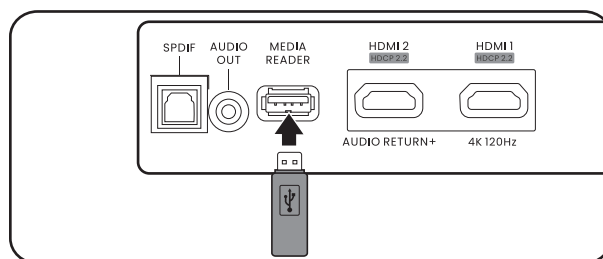
ファームウェアのアップグレード



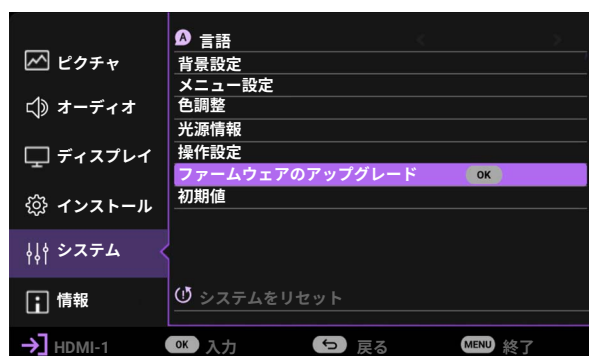
スムーズに処理が行われるように、ファームウェアをアップグレードする前に次のことを行っておいてください。

1. **情報 > ファームウェアバージョンメニュー**を選択して、ファームウェアのバージョンを書き留めておいてください。
2. BenQ サービスセンターにバージョン番号を伝えて、お使いのプロジェクターにファームウェアの互換性の問題がないことを確認してください。

1. BenQ ウェブサイトを開き、**Product page (製品ページ) > Support (サポート) > Software (ソフトウェア)**を選択して最新のファームウェアファイルをダウンロードしてください。
2. ダウンロードしたファイルを展開して、「W4000iUpgrade.bin」というファイルを USB フラッシュドライブに保存します (FAT32 フォーマットの USB ドライブをお使いになることをお勧めします)。
3. USB フラッシュドライブを本機の背面にある **MEDIA READER** ポートに接続します。



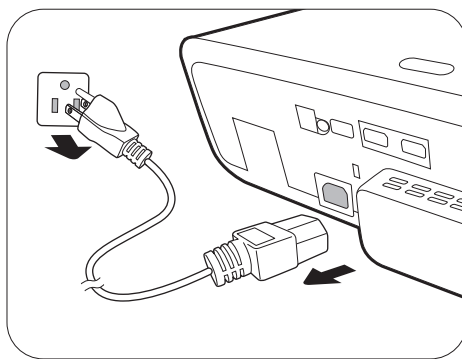
4. **詳細設定メニュー > システム > ファームウェアのアップグレードメニュー**を選択し、**OK**を押します。



5. **はい**を選択して、ファームウェアのバージョンをアップグレードします。アップグレードが完了するまでは、プロジェクターの電源はオンにしたままにしておいてください。

プロジェクターをシャットダウンする

1. ① を押すと、確認を促すメッセージが表示されます。数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。
2. 再び ① を押します。電源インジケータがオレンジ色に点滅して投写光源が消灯した後、プロジェクターを冷却するためにファンが約 15 秒間動作を続けます。
3. 冷却処理が完了したら、電源インジケータがオレンジに点灯し、ファンが停止します。電源コードをコンセントから抜きます。



光源を保護するため、冷却プロセスの間はプロジェクターはいかなる操作にも反応しません。

メニューの操作

オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューは、選択した信号のタイプと使用するプロジェクターのモデルにより異なります。

メニューアイテムはプロジェクターが最低 1 つの有効な信号を検出しなければ有効にはなりません。プロジェクターに装置が接続されていなかったり、信号が何も検出されなければ、限られたメニューアイテムにしかアクセスすることができません。

基本メニュー

構造

メニュー (参照 ページ)	オプション
ピクチャモード (35)	高輝度 / 明るいシネマ / シネマ / フィルムメーカー モード /3D/HDR10/HDR10+/ フィルムメーカー モード (HDR)/HLG/ISF Night/ISF Day/ ユーザー
サウンド モード (40)	シネマ / 音楽 / ゲーム / スポーツ / ユーザー
光源モード (39)	標準 / エコ /SmartEco/ カスタム
2D キーストーン (20)	H : -30 - +30
	V : -30 - +30
高速モード (36)	オフ / オン
HDR 輝度 (39)	-2/-1/0/1/2
情報 (50)	検出された解像度
	ソース
	ピクチャモード
	光源モード
	3D 形式
	カラー システム
	ダイナミックレンジ
	光源の使用時間
	ファームウェアバージョン
メニュー タイプ (48)	サービスコード
	基本 / 詳細設定

詳細設定メニュー

1. メイン メニュー：ピクチャ

構造

メニュー		オプション	
ピクチャモード		高輝度 / 明るいシネマ / シネマ / フィルムメーカー モード / 3D/HDR10/HDR10+/ フィルムメーカー モード (HDR)/HLG/ISF Night/ISF Day/ ユーザー	
	読み込み設定	明るいシネマ / シネマ / フィルムメーカー モード	
ユーザー管理	ユーザー モード名変更		
		オフ / オン	
高速モード		0-100	
輝度		0-100	
コントラスト		0-100	
色		0-100	
色調		0-15	
シャープネス		ガンマ選択	
詳細色設定	色温度の微調整	色温度	ネイティブ（高輝度 ピクチャモード用） 標準 / 高い / 低い（その他のピクチャモード用）
		R ゲイン / G ゲイン / B ゲイン	0-200
		R オフセット / G オフセット / B オフセット	0-511
		色温度の調整をリセット	
		5%/10%/20%/30%/40%/50%/60%/70%/80%/90%/100%	R/G/B 0-100
	カラーマネージメント	リセット	
		R/G/B/C/M/Y	色相 / 彩度 / ゲイン
		W	R ゲイン / G ゲイン / B ゲイン
	CinemaMaster	リセット	
		広色域	オフ / オン
		Color Enhancer	0-18
		肌色	-5-5
		ピクセルエンハンサー 4K	0-20
		モーションエンハンサー	オフ / 低 / 中 / 高
		ローカル コントラスト エンハンサー	オフ / 低 / 中 / 高

詳細色設定 (続き)	光源モード	標準 / エコ / SmartEco/ カスタム
	カスタム輝度	70%–100%
	HDR 輝度	-2/-1/0/1/2
	ノイズ軽減	オフ / 低 / 中 / 高
現在のピクチャモードをリセット		リセット / キャンセル

機能説明

メニュー	説明
	このプロジェクターは操作環境や入力信号の画像タイプによって自由に選択できるように、いくつかのピクチャモードのプリセットがあります。 ・高輝度 映像の輝度を最大限明るくします。このモードは、プロジェクターを明るい部屋で使用する場合など輝度を最高に明るくする必要がある環境に適しています。 ・明るいシネマ 高い輝度レベルで忠実な色再現と深いコントラストで、明るいシネマモードはリビングなど、照明が暗い部屋でムービーを再生するのに適しています。 ・シネマ まるで映画館にいるかのように、部屋を暗くした状態で高精細でコントラストの高い映画を楽しむのに適しています。 ・3D 3D コンテンツを表示すると、3D 効果が映し出されるように最適化されます。
ピクチャモード	 このモードは、3D 機能が有効になっている場合にのみ使用できます。 ・HDR10/ フィルムメーカー モード HDR Blu-ray ムービー向けの輝度と色のコントラストを高めたハイダイナミックレンジ効果を実現します。メタデータまたは EOTF 情報を HDR10 コンテンツから自動検出したら、HDR10/ フィルムメーカー モードを選択できるようになります。 ・HDR10+ HDR Blu-ray ムービー向けの輝度と色のコントラストを高めたハイダイナミックレンジ効果を実現します。このモードは、HDR10+ コンテンツが検出された場合にのみ使用できます。HDR10+を選択すると、HDR 輝度がグレイ表示されます。 ・HLG 高コントラストと色のハイダイナミックレンジ効果を実現します。ピクチャモードは HLG に自動的に切り替わり、HLG ストリーミングコンテンツからメタデータや EOTF 情報が検出されます。 ・ユーザー 現在有効なピクチャモードを元にカスタマイズした設定を呼び出します。36 ページの「ユーザー管理」を参照してください。

現在のピクチャモードがお好みの設定ではない場合は、ユーザーが定義可能なモードが1つあります。ピクチャモードの1つ（ユーザー以外）を基点として使用し、そこから設定をカスタマイズすることができます。

・読み込み設定

1. **ピクチャ>ピクチャモード**を選択します。
2. **◀/▶** を押して**ユーザー**を選択します。
3. **▼** を押して**ユーザー管理**を選択し、次に **OK** を押してください。すると**ユーザー管理**ページが表示されます。
4. **読み込み設定**を選択し、**OK** を押します。
5. **▼/▲** を押して、用途に最も合ったピクチャモードを選択してください。
6. 完了したら、**OK** と **BACK** を使って**ピクチャメニュー**に戻ってください。
7. **▼** を押して変更したいサブメニューアイテムを選択し、**◀/▶** を使って値を調整します。調整内容によって選択したユーザーモードが定義されます。

ユーザー管理

・ユーザー モード名変更

カスタマイズしたピクチャモードに別名を付けます（ユーザー）。新しい名前はアルファベット（A-Z、a-z）、数字（0-9）、およびスペース（_）を使って9文字以内で指定することができます。

1. **ピクチャ>ピクチャモード**を選択します。
2. **◀/▶** を押して**ユーザー**を選択します。
3. **▼** を押して**ユーザー管理**を選択し、次に **OK** を押してください。すると**ユーザー管理**ページが表示されます。
4. **▼** を押して**ユーザー モード名変更**を選択し、次に **OK** を押してください。すると**ユーザー モード名変更**ページが表示されます。
5. **▲/▶/▼/◀** および **OK** を使って、文字を設定してください。
6. **BACK/↶** と **▼** を押して**引き渡し**ハイライトした後、**OK** を押します。
7. 完了したら、**BACK/↶** を押して変更内容を保存し、終了します。

以下のプロジェクター設定により、入力ソースと表示画像の間の応答時間を最短にすることができます。低遅延でゲームを楽しむために、プロジェクターのOSDと入力タイミングをこの条件に設定してください。

- ・詳細設定メニューの**インストール>2D キーストーン**の設定値を0へ
- ・詳細設定メニューの**ディスプレイ>アスペクト比**の設定値を自動へ
- ・入力タイミングは4K 60Hz、または1080p 60Hz/120Hz/240Hz

高速モード

・高速モード

入力源と表示画像の応答時間が短縮されます。

* **高速モード**は一般的なゲームで次の入力された場合にのみ有効にできます。

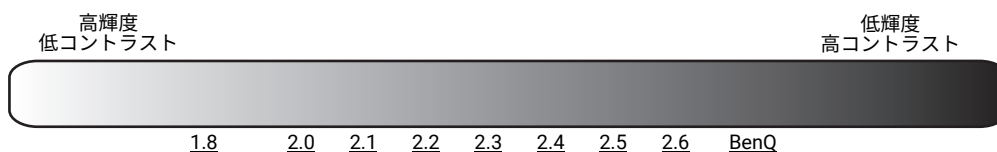
- ・1080p 60Hz/120Hz/240Hz
 - ・4K 60Hz
-

輝度	値を高くするほどイメージの輝度が増加します。この項目を調整し、映像の黒い部分がちょうど黒く見えるように、また暗い部分のディテールが見えるように調整します。
コントラスト	値を高くするほどコントラストが増加します。選択した入力と表示環境に合わせて輝度を調整した後、これを使って白のピークレベルを設定することができます。
色	色の彩度レベル - 映像の各色の量を調整します。設定を低くするほど色の彩度は低くなります。最小値に設定すると、モノクロの映像になります。 逆に値を上げすぎると、画像の色が不自然に強調されてしまいます。
色調	画像の赤と緑のトーンを調整します。 値を高くするほど緑がかった画像になります。値を低くするほど赤みがかった画像になります。
シャープネス	画像が鮮明に、または柔らかく見えるように調整します。値を上げると、画像がより鮮明になります。

・ガンマ選択

ガンマとは、入力ソースと画像の輝度の関連性のことです。

- ・ **1.8/2.0/2.1/BenQ**：投写具合によって適切な値を選択してください。
- ・ **2.2/2.3**：映像の輝度を上げます。明るい環境、会議室、リビングに最適です。
- ・ **2.4/2.5**：暗室でムービーを鑑賞するのに最適です。
- ・ **2.6**：ほとんどが暗いシーンで構成されるムービーに最適です。



・色温度の微調整

詳細色設定

いくつかのプリセット色温度設定が使用できます。設定は、選択した入力タイプによって異なります。

高輝度が**ピクチャモード**に対して選択されている場合は、色温度が**ネイティブ**に切り替わり変更することができなくなります。

- ・ **ネイティブ**：光源の本来の色温度を維持しながら輝度を高めるこの設定は、明るい部屋で画像を投写する場合など、高輝度が求められる環境に適しています。
- ・ **標準**：白の色合いを通常に保ちます。
- ・ **高い**：画像を青みがかった白で表示します。
- ・ **低い**：画像を赤みがかった白で表示します。

次のオプションを調整すると、任意の色温度を設定できます。

- ・ **R ゲイン / G ゲイン / B ゲイン**：赤、緑、青のコントラストレベルを調整します。
- ・ **R オフセット / G オフセット / B オフセット**：赤、緑、青の輝度レベルを調整します。

・詳細色温度の微調整

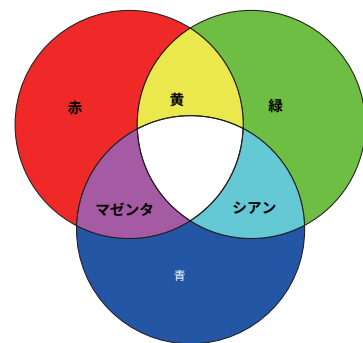
異なる輝度レベルによって、映像の明るい部分から暗い部分へ **ホワイトバランス** を微調整するために使用します。これらのレベルは、各信号レベル (%) に基づいて 11 個のポイントに分けられています。輝度レベルの違い、選択したポイントの色温度を 0~100 の範囲で赤／緑／青の濃度を調整します。**リセット** を選択すると、このメニューのすべての設定を工場出荷時の値に戻します。

・カラーマネージメント

カラーマネージメントでは、6 色 (RGBCMY) を調整することができます。それぞれの色を選択すると、その色の範囲と彩度を個別に自在に調整することができます。

調整するには、▲/▼ 矢印を押して赤 (R)、緑 (G)、青 (B)、シアン (C)、マゼンタ (M)、黄 (Y) の中から色を選択し、**OK** を押します。次のメニュー項目が選択肢として表示されます。

- ・**色相**：範囲を広げると、隣り合う 2 色のより広い範囲の色が含まれます。各色がどのように関連し合っているかについては、図を参照してください。
例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、投写画像の中で純粋な赤だけが選択されます。範囲を広げると、黄に近い赤やマゼンタに近い赤も含まれます。



- ・**彩度**：見やすいように値を調整してください。調整内容は直ちに画像に反映されます。例えば、赤を選択し、その範囲を 0 に設定した場合、純粋な赤の彩度だけが影響を受けます。
- ・**ゲイン**：見やすいように値を調整してください。選択した原色のコントラストレベルが影響を受けます。調整内容は直ちに画像に反映されます。

ホワイトバランス (W) を選択すると、**R ゲイン**、**G ゲイン**、**B ゲイン** を選択することで赤、緑、青のコントラストレベルを調整することができます。

すべての設定を初期値に戻すには、**リセット** を選択して **OK** を押します。



彩度 はビデオ映像の色の量のことです。値を低くすると彩度が低くなります。「0」に設定すると、画像から完全に色を抜いてしまいます。彩度が高すぎると、色が濃すぎて非現実的な色になってしまいます。

・広色域

色域とはデバイスが表示できる色の範囲のことです。CIE 1976、sRGB、Adobe RGB、NTSC など、ディスプレイデバイスの色域の差異レベルを定義する規格があります。**オン** を選択すると、カラーフィルター モジュールを有効にして色域を DCI-P3 まで拡張します。

この機能は、**HDR10** または **HLG** が選択されている場合にしか使用できません。本機では、**オン** を選択すると入力源に最も適した色域が自動的に適用されます。

詳細色設定 (続き)

• CinemaMaster

- **Color Enhancer**：最大の柔軟性で色の彩度を微調整できます。複雑なカラーアルゴリズムを調節して飽和色、精彩なグラデーション、中間色、微妙な色合いを滑らかに処理します。
- **肌色**：映像の中の人の肌のみ色相をスマートに調整します。肌の色がプロジェクターの光線により退色して見えるのを防止し、肌色を最も美しい陰影で再現します。
- **ピクセルエンハンサー 4K**：Full HD コンテンツで色、コントラスト、テクスチャを徹底的に向上する超解像テクノロジーです。スクリーンから飛び出したかのように実物に忠実な映像を再現するための、表面の詳細を微調整する詳細向上テクノロジーでもあります。シャープネスのレベルを調整したり、最適に表示するために詳細を向上させたりすることができます。
- **モーションエンハンサー**：モーションの予想／モーションの補正により、映像のスムーズさを向上させます。
- **ローカル コントラスト エンハンサー**：動画コンテンツを異なる「ゾーン」に分割し、スクリーンの暗い部分を明るいエリアに影響を与えることなく調光します。こうすることにより、ムービーを鑑賞する際、特に暗い部屋においてコントラストが高くなります。

詳細色設定 (続き)

• 光源モード

モードの中から適切な光源を選択します。52 ページの「[光源の寿命を伸ばすには](#)」を参照してください。

• カスタム輝度

光源を手動で調整します。このモードは**光源モード**が**カスタム**に設定されている場合にのみ使用できます。

• HDR 輝度

プロジェクターは、入力源に応じて映像の輝度レベルを自動調整できます。画質を高めるために、手動で調整することも可能です。値を上げると、映像が明るくなります。逆に値を下げると、映像は暗くなります。

• ノイズ軽減

メディアプレーヤの違いによる映像ノイズを軽減します。

選択した**ピクチャモード**（プリセット モード、**ユーザー**を含む）の調整内容がすべて初期値に戻されます。

現在のピクチャモードをリセット

1. **OK** を押します。すると確認のメッセージが表示されます。
2. **◀/▶** を押して**リセット**を選択し、**OK** を押してください。現在のピクチャモードが工場出荷時の設定に戻ります。



次の設定は現在の設定値のまま維持されます：**ピクチャモード**、**読み込み設定**。

2. メイン メニュー：オーディオ

構造

メニュー	オプション
サウンド モード	シネマ / 音楽 / ゲーム / スポーツ / ユーザー
カスタム サウンド EQ	100Hz/300Hz/ 1kHz/4kHz/10kHz -10 - +10
オーディオ出力	treVolo/S/PDIF/Audio return+/3.5 mm ジャック
オーディオ出力形式	自動 /LPCM/RAW/RAW+
ミュート	オフ / オン
音量	0 - 20
オーディオをリセット	リセット / キャンセル

機能説明

メニュー	説明
サウンド モード	この機能は、リアルタイムでオーディオ信号を最適化する、120 の調整ポイントを持つ特許取得済のアルゴリズムが組み込まれた treVolo および Bongaiovi DPS (Digital Power Station) テクノロジーを使用し、サウンドに深さ、明瞭さ、精彩さ、存在感を与え、ステレオフィールド イメージングを向上させてオーディオ体験をさらに上のレベルに引き上げます。プリセットのサウンドには次のようなものがあります：シネマ、音楽、ゲーム、スポーツ、ユーザー。 ユーザーモードではサウンド設定をお好みの設定にできます。ユーザーモードを選択すると、カスタム サウンド EQ 機能を使って手動調整を行うことができます。
カスタムサウンド EQ	必要に合わせて、周波数域（100 Hz、300 Hz、1k Hz、4k Hz、10k Hz）を調整してください。ここで行った設定により、 ユーザー モードが定義されます。
オーディオ出力	内部スピーカーまたは外部スピーカーからオーディオ出力を選択します。 デジタル出力の S/PDIF を使用するには、プロジェクターの SPDIF 端子を対応するオーディオシステムと接続してください。 eARC/ARC で接続する場合には、プロジェクターの HDMI 2 のポートと対応するサウンドバーなどのオーディオ機器を接続し Audio return+ を選択してください。 Audio return+ は 2.0、5.1、7.1、Dolby Atmos など、複数のオーディオのサウンドバーなどの外部オーディオシステムへ出力に対応します。
オーディオ出力形式	次のオーディオ出力形式に対応しています： LPCM は 2 チャンネルオーディオ出力に対応、 RAW は 5.1 チャンネルオーディオ出力に対応します。また、 RAW+ は Dolby Atmos オーディオ出力に対応します。デフォルト設定の 自動 は、オーディオシステムに合った出力フォーマットを選択します。
ミュート	オンを選択してプロジェクターの内部スピーカーを一時的にオフにします。 オーディオを復元するには、オフを選択します。

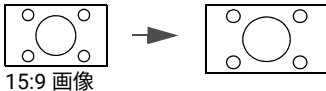
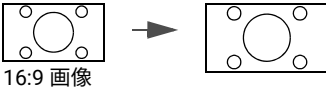
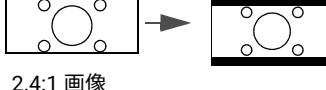
音量	プロジェクターの内部スピーカーの音量を調整します。 ミュート機能が有効になっている場合は、音量を調整するとミュート機能がオフになります。
オーディオをリセット	オーディオメニューで行った調整は、初期値に戻されます。

3. メイン メニュー：ディスプレイ

構造

メニュー		オプション
アスペクト比		自動 / 4:3 / 16:9 / 2.4:1
自動入力検知		オフ / オン
ソース名変更		HDMI-1 / HDMI-2
3D	3D モード	自動 / F. シーケンシャル / フレームパッキング / 上 - 下 / サイドバイサイド / オフ
	3D 逆同期	無効 / 逆転
	HDMI フォーマット	自動 / 一部 / フル
HDMI 設定	HDMI イコライザー	HDMI-1 / HDMI-2 / Android TV 自動 / 1-32
	HDMI EDID	HDMI-1 強化 + / 強化 / 標準
		HDMI-2 強化 / 標準
		Android TV 強化 / 標準
	HDMI デバイスコントロール	オフ / オン
HDMI 電源オン / オフ リンク		オフ / オン
24P True シネマ		オフ / オン
ディスプレイリセット		リセット / キャンセル

機能説明

メニュー	説明
アスペクト比	入力信号ソースによって、画像のアスペクト比を設定するいくつかのオプションがあります。 この画像調整を行うと、高速モードの遅延に影響を与える場合があります。低遅延でゲームを楽しむには、アスペクト比を自動に設定することをお勧めします。 自動 画像をプロジェクター本来の解像度の水平幅または垂直高に合わせて表示します。 4:3 スクリーンの中央が 4:3 のアスペクト比になるようにイメージを調整します。 16:9 スクリーンの中央が 16:9 のアスペクト比になるようにイメージを調整します。 2.4:1 スクリーンの中央が 2.4:1 のアスペクト比になるようにイメージを調整します。
	
	
	
	

自動入力検知	プロジェクターに信号を自動検出することができます。
ソース名変更	現在の入力ソースに別名を付けます。 ソース名変更ページ： 1. OK を押して、オンスクリーン キーボードを表示します。 2. ▲/▼/◀/▶ を押して数字 / 文字を選択し、OK を押して各入力を確定します。 3. 上の手順を繰り返し、終了したら、引き渡しをハイライトします。 4. OK を押すと、ソース名が変更されます。
3D	本機は、PlayStation コンソール（3D ゲームディスク使用）、3D Blu-ray プレーヤー（3D Blu-ray ディスク使用）等のコンテンツや、3D 対応ビデオ装置から転送された 3D コンテンツを再生できます。3D ビデオデバイスをプロジェクターに接続した後は、BenQ 3D メガネを着用してオンになっていることを確認してください。 3D コンテンツをご覧になる場合： ・画像がずれて見えることがあります。これは故障ではありません。 ・3D コンテンツをご覧になる際は、適度な休憩を取ってください。 ・疲労感や不快感を感じた場合は、3D コンテンツを見るのを止めてください。 ・スクリーンからの距離は、スクリーンの高さの約 3 倍を保ってください。 ・光に敏感な方、暑さに弱い方、その他既往症のある方は、3D コンテンツの鑑賞はお勧めしません。 ・3D メガネを着用しなければ、映像は赤、緑、または青が強調されて見えることがあります。3D メガネを着用して 3D コンテンツを見ると、このような偏りは見られません。 ・4K 映像は表示できません。 ・3D モード デフォルト設定は自動で、3D コンテンツが検出された場合はプロジェクターが自動的に適切な 3D フォーマットを選択します。プロジェクターが 3D フォーマットを識別できない場合は、F. シーケンシャル、フレームパッキング、上 - 下またはサイドバイサイドを選択してください。 この機能が有効なとき： ・投写映像の輝度レベルが下がります。 ・ピクチャモードは調整できません。 ・2D キーストーンは一定角度内でしか調整できません。 ・3D 逆同期 3D 画像が歪んでいるときには、この機能を有効にして左目と右目の画像を入れ替えると 3D 画像が見やすくなります。

HDMI 設定

・HDMI フォーマット

色の精度を補正するには、適切な RGB 色範囲を選択します。

- ・自動：受信した HDMI 信号の色域を自動的に選択します。
- ・一部：制限付き範囲の RGB 16-235 を使用します。
- ・フル：フル範囲の RGB 0-255 を使用します。

・HDMI イコライザー

長距離でデータ通信を行う場合に、HDMI の画質を維持するために適切な値に設定します。

・HDMI EDID

HDMI 2.1 EDID（4K 120Hz と互換性があります。デフォルト設定です）向けには**強化+**、HDMI 2.0 EDID 向けには**強化**、HDMI 1.4 EDID 向けには**標準**に切り替えます。最大 1080p 60Hz までサポートする**標準**を選択すると、古いプレーヤーで発生する表示の不具合を解消できる場合があります。

・HDMI デバイスコントロール

この機能を有効にして、HDMI CEC 対応のデバイス（QS02、サウンドバーなど）をプロジェクターに接続すると、プロジェクターが電源オンの状態のとき、プロジェクターのリモコン / キーパッドでデバイスのメニューや音量を調整することができます。

・HDMI 電源オン／オフ リンク

HDMI CEC 対応デバイスを HDMI ケーブルで使って HDMI プロジェクターに接続する場合は、デバイスとプロジェクターの間の電源オン / オフの動作を設定できます。

HDMI 電源オン／ オフ リンク > オン	接続したデバイスをオンにすると、プロジェクターもアクティベートされます。
	プロジェクターをオフにすると、接続したデバイスもシャットダウンされます。

24P True シネマ

多くの映画は、1 秒間のフレーム数が 24 フレーム (fps) で収録されています。この機能は、制作者の意図した通りに映画を再現するために、コマ落ちなく 24 フレームを保ちながら、HDR モードで鮮明な映像を表示します。

ディスプレイリセット

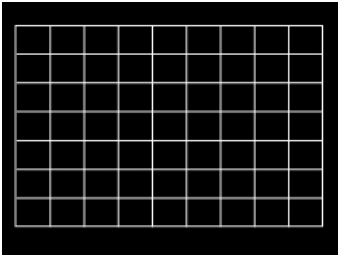
ディスプレイメインメニューの全設定を工場出荷時の値に戻します。

4. メイン メニュー：インストール

構造

メニュー		オプション	
プロジェクタの投写位置		自動 / 正面 / 天井前面投写 / 背面 / 天井背面投写	
2D キーストーン		H : -30 - +30 V : -30 - +30	
テストパターン		オフ / オン	
高地モード		オフ / オン	
12V トリガー		オフ / オン	
ネットワーク設定	シリアルポート設定	ポート選択	RS232/LAN
		ボーレート	9600/19200/38400/57600/115200
	有線 LAN	接続状況	接続 / 切断
		DHCP	オフ / オン
		IP アドレス	0.0.0.0
		サブネットマスク	0.0.0.0
		既定のゲートウェイ	0.0.0.0
		DNS サーバー	0.0.0.0
		適用	
	AMX デバイス検索		オフ / オン
	Control4		オフ / オン
	MAC アドレス (有線)		
	ネットワークスタンバイ設定	ネットワークのスタンバイモードを有効にする	オフ / オン
		ネットワーク待機モードを自動無効	常に使用しない / 20 分 / 1 時間 / 3 時間 / 6 時間

機能説明

メニュー	説明
プロジェクタの投写位置	プロジェクターは、天井またはスクリーンの背後に設置したり、1 枚あるいは複数の鏡を使用して設置することができます。詳細は、 14 ページの「設置場所の選択」 を参照してください。
2D キーストーン	詳細は、 20 ページの「台形補正」 を参照してください。 この画像調整を行うと、 ゲームモード の遅延に影響を与える場合があります。低遅延でゲームを楽しむには、 2D キーストーン を 0 に設定することをお勧めします。
テストパターン	イメージサイズとフォーカスを調整し、投写映像に歪みがないことを確認するのに役立ちます。 

高地モード

海拔 1500 m ～ 3000 m、気温 0℃ ～ 30℃ の環境で本製品を使用する場合は、**高地モード**を使用されるようお勧めします。

「**高地モード**」を選択した場合は、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるために操作ノイズが高くなる場合があります。

上記の場合を除き、それ以外の極限環境でプロジェクターを使用すると、プロジェクターが自動的にシャットダウンする場合があります。これはプロジェクターを過熱から保護するために施された機能です。このような場合は、高地モードに切り替えてみてください。ただし、これはこのプロジェクターが極限状態でも操作可能であるということを保証するものではありません。



高度 0 m ～ 1500 m、温度 0℃ ～ 35℃ の範囲内では**高地モード**は使用しないでください。このような環境でこのモードを有効にすると、プロジェクターが過度に冷却されてしまいます。

12V トリガー

オンを選択すると、プロジェクターの電源を入れたとき電気信号が送信されます。

・シリアルポート設定

- ・ **ポート選択**：用途に合ったポートを選択します。
- ・ **ボーレート**：適切な RS-232 ケーブルを使ってプロジェクターをコンピューターに接続し、プロジェクターのファームウェアを更新またはダウンロードできるように、ボーレートはコンピューターと同じ値に設定してください。この機能は専門の技術者用に設けられています。

・有線 LAN/AMX デバイス検索

30 ページの「インターネットを介してプロジェクターを接続する」を参照してください。

・Control4

本機がネットワークに接続されており、自宅のオートメーションシステムから本機を使用したい場合は、**オン**を選択します。

ネットワーク設定

・MAC アドレス（有線）

Media Access Control Address を表示します。

・ネットワーク スタンバイ設定

このメニューには、本機がスタンバイモードのときにネットワークを操作できるように、基本的な設定と詳細設定があります。

- ・ **ネットワークのスタンバイ モードを有効にする**：**オン**を選択すると、本機は消費電力量をオンの時よりも下げて、ネットワーク操作ができるように稼働します。**オフ**を選択すると、本機はネットワークから切断されます。
- ・ **ネットワーク待機モードを自動無効**：**ネットワークのスタンバイ モードを有効にする**が **オン**に設定されている場合は、ネットワーク上で何も動作が検出されないとき、スタンバイ機能を無効にするためにこのメニューで時間枠を決定することができます。**20 分 / 1 時間 / 3 時間 / 6 時間**を選択すると、その期間が経過した後、本機がネットワークなしスタンバイ状態に切り替わります。**常に使用しない**を選択すると、本機は常にネットワーク操作ができるように接続された状態になります。

5. メイン メニュー：システム

構造

メニュー		オプション
言語		English / Français / Deutsch / Italiano / Español / Русский / 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / 한국어 / Svenska / Nederlands / Türkçe / Čeština / Português / ਪੰਜਾਬੀ / Polski / Magyar / Hrvatski / Română / Norsk / Dansk / Български / Suomi / Indonesian / Ελληνικά / العربية / हिन्दी
背景設定	起動画面	BenQ / 黒 / 青
メニュー設定	メニュー タイプ	基本 / 詳細設定
	メニュー表示時間	5 秒 / 10 秒 / 20 秒 / 30 秒 / 常に使用する
	メニュー位置	中央 / 左上 / 右上 / 右下 / 左下
	ISF	(パスワードの入力)
色調整	自動色調整	オフ / オン
光源情報	光源の使用時間	
	ノーマル モード	
	ECO モード	
	SmartEco モード	
	カスタムモード	
	実質光源使用時間	
	正確な公式は、取り扱い説明書をお読みください	
操作設定	アラームメッセージ	オフ / オン
	LED インジケータ	オフ / オン
	電源オン / オフの設定	ダイレクト電源オン オフ / オン
	自動パワーオフ	無効 / 3 分 / 10 分 / 15 分 / 20 分 / 25 分 / 30 分
	BenQ HDMI メディアストリーミング (QS02)	オフ / オン
	ファームウェアのアップグレード	はい / いいえ
初期値		リセット / キャンセル
システムをリセット		リセット / キャンセル

機能説明

メニュー	説明
言語	オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューの言語を設定します。
背景設定	・ 起動画面 プロジェクト起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。

メニュー設定

・メニュー タイプ

必要に応じて OSD メニュータイプを設定します。

・メニュー表示時間

最後にキーを押してからの OSD の表示時間を設定します。

・メニュー位置

オン スクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを設定します。

・ISF

ISF キャリブレーションメニューはパスワードにより保護されており、認証された ISF キャリブレータしかアクセスすることができません。ISF (Imaging Science Foundation) は最適なビデオ性能を実現するために業界が認める規格を入念に開発し、技術者と設置技術者のトレーニングプログラムに導入しました。これらの規格を採用することにより、BenQ ビデオディスプレイ装置から最適な画質を得ることができます。したがって、ISF 認証を受けた技術者により設定と調整を行うよう推奨します。



詳細は、www.imagingscience.com をご覧になるか、プロジェクターを購入された販売店へお尋ねください。

色調整

・自動色調整

プロジェクターの色の一貫性を自動的に維持します。

このメニューページには次のような情報が表示されます。

・光源の使用時間

・ノーマル モード、ECO モード、SmartEco モード、カスタムモードで使用された光源時間です。

・実質光源使用時間

時間の計算方法については、[52 ページの「光源使用時間を見る」](#)を参照してください。

光源情報

・アラームメッセージ

アラーム メッセージをオンまたはオフにします。

・LED インジケータ

LED 警告灯は消すことができます。暗室で映像を見るときに、警告灯の光が邪魔にならないようにします。

・電源オン / オフの設定

・ダイレクト電源オン：電源コードから電源が供給されると、プロジェクターは自動的に起動します。

・自動パワーオフ：指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、無駄に光源の寿命を消耗しないように自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

操作設定

・BenQ HDMI メディアストリーミング (QS02)

Android TV HDMI ドングル (QS02) に関連する機能を有効または無効にします。たとえば、

・Android TV HDMI ドングル接続のリマインダー。

・電源オン後の Android TV HDMI ドングルとプロジェクターの間でのハンドシェイクメカニズム。

ファームウェアのアップグレード ファームウェアをアップグレードします。 [31 ページの「ファームウェアのアップグレード」](#) を参照してください。

すべての設定を工場出荷時の値に戻します。

初期値



次の設定は現在の設定値のまま維持されます：プロジェクトの投写位置、2D キーストーン、高地モード、12V トリガー、ネットワーク設定、ISF、光源情報、BenQ HDMI メディアストリーミング (QS02)、ファームウェアのアップグレード。

システムメインメニューの全設定を工場出荷時の値に戻します。

システムをリセット



次の設定は現在の設定値のまま維持されます：ISF、光源情報、BenQ HDMI メディアストリーミング (QS02)、ファームウェアのアップグレード。

6. メイン メニュー：情報

構造

メニュー	オプション
検出された解像度	
ソース	
ピクチャモード	
光源モード	
3D 形式	
カラー システム	
ダイナミックレンジ	
光源の使用時間	
ファームウェアバージョン	
サービスコード	

機能説明

メニュー	説明
検出された解像度	入力信号のネイティブ解像度を表示します。
ソース	現在の信号ソースを表示します。
ピクチャモード	ピクチャメニューで選択したモードを表示します。
光源モード	使用中の光源モードを表示します。
	現在の 3D モードが表示されます。

3D 形式



3D 形式は 3D が有効になっている場合にのみ使用できます。

カラー システム	入力システムフォーマットを表示します。
ダイナミックレンジ	SDR、HDR10、HLG など、画像のダイナミックレンジを表示します。
光源の使用時間	ランプの使用時間数が表示されます。
ファームウェアバージョン	プロジェクターのファームウェアバージョンが表示されます。
サービスコード	プロジェクターのシリアル番号が表示されます。

メンテナンス

プロジェクターのお手入れ

レンズのクリーニング

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。レンズのお手入れを開始する前に、プロジェクターをオフにして完全に冷却してください。

- ・エアダスターを使ってほこりを取り除いてください。
- ・汚れやしみが付いた場合は、レンズ クリーニング ペーパーまたはレンズ クリーナーで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。
- ・研磨用パッド、アルカリ性 / 酸性クレンザー、研磨剤入りパウダー、揮発性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤）などは一切ご使用にならないでください。ゴムやビニール部分にこのような素材を使用したり、長期間これらを接触したままの状態にしておくと、プロジェクターの表面やキャビネットの素材を傷つける場合があります。

レンズの表面に若干ホコリがついているのは正常です。レンズのお手入れが必要な場合でも、プロジェクターのパーツは絶対に取り外さないでください。

プロジェクターが正常に作動しなくなった場合は、販売店かサポートセンターへお問い合わせください。

プロジェクター筐体のお手入れ

筐体のお手入れを行う前に、[32 ページ](#)の「**プロジェクターをシャットダウンする**」に記載されている正しい手順でプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いてください。

- ・ほこりや汚れを取り除くには、柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- ・落ちにくい汚れやしみをとり除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、筐体を拭きます。



ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、筐体を傷める場合があります。

プロジェクターの保管

長期間プロジェクターを保管する必要がある場合、次の手順に従ってください。

- ・保管場所の温度と湿度が、プロジェクターの推奨範囲内であることを確認します。詳細は、[55 ページ](#)の「**仕様**」を参照するか、販売店にお尋ねください。
- ・調整脚を収納します。
- ・リモコンから電池を取り外します。
- ・プロジェクターを元の梱包または同等の梱包に入れます。

プロジェクターの移動

プロジェクターを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。

光源情報

光源使用時間を見る

プロジェクターが作動している間、プロジェクターに内蔵されたタイマーが光源の使用時間（時間単位）を自動的に計算します。ライト時間の計算方法は次の通りです。

1. 光源使用時間 = (x+y+z+a) 時間：
標準モードでの使用時間 = x 時間
エコモードでの使用時間 = y 時間
SmartEco での使用時間 = z 時間
カスタムモードでの使用時間 = a 時間
2. 実質光源使用時間 = α 時間

$$\alpha = \frac{A'}{X} \times x + \frac{A'}{Y} \times y + \frac{A'}{Z} \times z + \frac{A'}{A} \times a \text{、もし}$$

X= 標準モードでの光源仕様

Y= エコモードの光源の仕様

Z= SmartEco モードの光源の仕様

A= カスタムモードでの光源寿命

A' は X、Y、Z、A の中で最長の寿命となります。



各光源モードでの使用時間が OSD メニューに表示されます：

- ・使用時間は累積され、時間単位で表示されます。
- ・1 時間以下の場合は 0 時間として表示されます。



手動で実質光源使用時間を計算する場合、プロジェクターは各光源モードでの使用時間を「分」で計算した後、時間単位に丸めるため、OSD メニューに表示される値とは誤差があるかもしれません。

光源の情報を知るには：

詳細設定メニュー - システム > 光源情報を選択し、OK を押します。すると光源情報ページが表示されます。

また、情報メニューではライト時間情報を見ることができます。

光源の寿命を伸ばすには

- ・光源モードを設定する

詳細設定メニュー - ピクチャ > 詳細色設定 > 光源モードを選択して ◀/▶ を押して、表示されるモードの中から適切な光源を選択します。

プロジェクターをエコ、SmartEco、カスタムモードで使用すると、光源の寿命を延長することができます。

光源モード	説明
標準	光源を完全に明るくします。
エコ	明るさを下げて、光源を長く使えるようにします。また、ファンのノイズも小さくなります。
SmartEco	コンテンツの輝度レベルによっては、表示品質を最適化しながら光源の強度を自動的に調整します。
カスタム	光源を 1%単位で 70% から 100% の範囲で手動調整できます。

・自動パワーオフを設定する

指定した時間を経過しても入力信号が検出されないときには、不要に光源の寿命を消耗しないように自動的にプロジェクターの電源をオフにします。

自動パワーオフを設定するには、**詳細設定メニュー・システム > 操作設定 > 電源オン / オフの設定 > 自動パワーオフ**を選択し、◀/▶を押して時間範囲を設定します。



光源 (LED) の寿命は約 20,000-30,000 時間であり、通常はプロジェクターが作動している間に変更する必要はありません。LED の交換が必要になっても、お客様ご自身で交換することはできません。サービスセンターにお問い合わせください。

インジケータ

インジケーター			状態と説明
○ POWER	○ TEMP	○ LIGHT	
電源の状況			
			スタンバイ モードです。
			電源を入れています。
			通常動作状態です。
			通常の電源オフ冷却プロセスです。
			ダウンロード。
			光源の寿命が切れました。
			書き込みオン。
			書き込みオフ。
光源イベント			
			通常動作時に光源エラー発生。
			光源が点灯していません。
温度の状況			
			ファン 1 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
			ファン 2 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
			ファン 3 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
			ファン 4 エラー（実際のファン速度が適正速度をオーバー）。
			温度 1 エラー（上限温度オーバー）。



○：オフ

：オレンジ色点灯

：緑点灯

：赤点灯

：オレンジ色点滅

：緑点滅

：赤点滅

トラブルシューティング

? プロジェクターの電源がオンにならない。

原因	対応
電源コードから電源が来ていません。	電源コードが、プロジェクターの AC 電源ジャックと、コンセントに、正しく差し込まれていることを確認してください。また、コンセントにスイッチがある場合は、スイッチがオンになっていることを確認してください。
冷却プロセスの間にプロジェクターの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。

? 画像が映らない。

原因	対応
ビデオ ソースがオンになっていないか、正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
プロジェクターが正しく入力信号デバイスに接続されていません。	接続を確認します。
入力信号が正しく選択されていません。	Ⓢ (SOURCE) キーを使って正しい入力信号を選択してください。

? イメージがぼやける。

原因	対応
投写レンズの焦点が合っていません。	フォーカスリングで焦点を合わせてください。
プロジェクターとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であればプロジェクターの高さを調整します。

? リモコンが機能しない。

原因	対応
電池が切れています。	新しい電池に交換します。
リモコンとプロジェクターの間に障害物があります。	障害物を取り除いてください。
プロジェクターからの距離が遠すぎます。	プロジェクターから 8 メートル (26 フィート) 以内の場所で操作してください。

仕様

プロジェクターの仕様



仕様はすべて予告なく変更されることがあります。

光学仕様

解像度

3840 x 2160

ディスプレイ システム

1-CHIP DMD

レンズ

F = 1.8 ~ 2.25、f = 17.02 ~ 22.21 mm

クリアフォーカス範囲

1.52 - 5.09 m @ ワイド、

1.99 - 6.64 m @ 遠距離

光源

4LED

電気仕様

電源

AC 100-240 V、4.3 A、50-60 Hz (自動)

消費電力

385 W (最大)、< 0.5 W (スタンバイ)

機械的仕様

重量

6.2 Kg ± 100 g (13.67 ± 0.22 lbs)

出力端子

スピーカー

5 ワット x 1

オーディオ信号出力

3.5 mm オーディオジャック x 1

SPDIF x 1

HDMI-2 eARC

入力端子

デジタル

(外部)

- HDMI-1 (2.0、HDCP 2.2)

- HDMI-2 (2.0、HDCP 2.2、マルチチャンネル オーディオ出力ありの CEC/ARC/eARC)

(内部)

- Mini HDMI メスケーブル (2.0b、HDCP 2.2)

コントロール

12 V DC x 1 (0.5 A 電源)

RS-232 シリアル コントロール

9 pin x 1

赤外線受光部 x 2

LAN RJ-45 LAN (10/100M) x 1

USB

(外部)

- USB 2.0 (5V 1.5A) : USB reader / ドライブ

- USB 2.0 (5V 2.5A) : USB は本機の電源がオンの時にのみ充電、TI FW アップデート

(内部)

- USB Micro B ケーブル : QS02 用 (電源、5V/1.5A)

環境要件

動作温度範囲

0°C-40°C (海拔) (標準モード > 35°C @ エコ光源)

保管温度範囲

-20°C-60°C (海拔 0 m 以上)

動作 / 保管相対湿度

10%-90% (結露なきこと)

操作高度範囲

0-1499 m (0°C-35°C) (標準モード > 35°C @ エコ光源)

1500-3000 m (0°C-30 °C) (標準モード > 35°C @ エコ光源) (高地モードオン)

保管高度範囲

30°C @ 0-12,200 m (海拔 0 m 以上)

修理

お問い合わせ窓口については、次のホームページを開き、お住まいの国を選択してください。

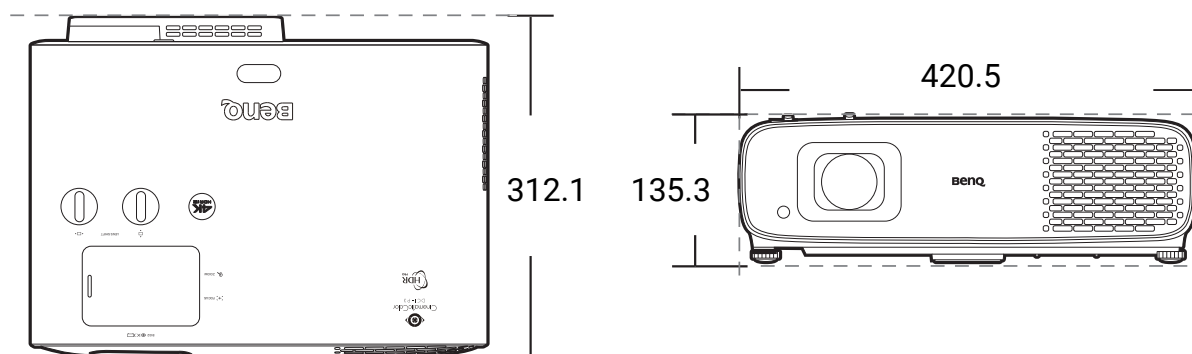
<http://www.benq.com/welcome>

搬送

製品が梱包されていたときの梱包材をご使用になることをお勧めします。

外形寸法

420.5 mm（幅） x 135.3 mm（高さ） x 312.1 mm（奥行き）



単位：mm

タイミングチャート

サポートされる HDMI (HDCP) 入力のタイミング

・PC タイミング

解像度	モード	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (KHz)	クロック (MHz)	対応 3D 形式		
					F. シーケン シャル	上 - 下	サイドバイ サイド
640 x 480	VGA_60	59.940	31.469	25.175		V	V
	VGA_72	72.809	37.861	31.500			
	VGA_75	75.000	37.500	31.500			
	VGA_85	85.008	43.269	36.000			
720 x 400	720 x 400_70	70.087	31.469	28.3221			
800 x 600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000		V	V
	SVGA_72	72.188	48.077	50.000			
	SVGA_75	75.000	46.875	49.500			
	SVGA_85	85.061	53.674	56.250			
	SVGA_120 (Reduce Blanking)	119.854	77.425	83.000			
1024 x 768	XGA_60	60.004	48.363	65.000		V	V
	XGA_70	70.069	56.476	75.000			
	XGA_75	75.029	60.023	78.750			
	XGA_85	84.997	68.667	94.500			
	XGA_120 (Reduce Blanking)	119.989	97.551	115.500			
1152 x 864	1152 x 864_75	75.00	67.500	108.000			
1024 x 576	BenQ Notebook Timing	60.00	35.820	46.996			
1024 x 600	BenQ Notebook Timing	64.995	41.467	51.419			
1280 x 720	1280 x 720_60	60	45.000	74.250		▲	▲
1280 x 768	1280 x 768_60	59.870	47.776	79.5		V	V
1280 x 800	WXGA_60	59.810	49.702	83.500		V	V
	WXGA_75	74.934	62.795	106.500			
	WXGA_85	84.880	71.554	122.500			
	WXGA_120 (Reduce Blanking)	119.909	101.563	146.25			
1280 x 1024	SXGA_60	60.020	63.981	108.000		V	V
	SXGA_75	75.025	79.976	135.000			
	SXGA_85	85.024	91.146	157.500			
1280 x 960	1280 x 960_60	60.000	60.000	108		V	V
	1280 x 960_85	85.002	85.938	148.500			
1360 x 768	1360 x 768_60	60.015	47.712	85.500		V	V
1440 x 900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500		V	V
1400 x 1050	SXGA+_60	59.978	65.317	121.750		V	V
1600 x 1200	UXGA	60.000	75.000	162.000		V	
1680 x 1050	1680 x 1050_60	59.954	65.290	146.250		V	V
640 x 480@67 Hz	MAC13	66.667	35.000	30.240			
832 x 624@75 Hz	MAC16	74.546	49.722	57.280			
1024 x 768@75 Hz	MAC19	75.020	60.241	80.000			
1152 x 870@75 Hz	MAC21	75.06	68.68	100.00			
1920 x 1080@60 Hz	1920 x 1080_60 (CEA-861)	60	67.5	148.5	V	▲	▲

1920 x 1200@60 Hz	1920 x 1200_60 (Reduce Blanking)	59.95	74.038	154			
1920 x 1080@120 Hz	1920 x 1080_120	120.000	135.000	297			
1920 x 1200@120 Hz	1920 x 1200_120 (Reduce Blanking)	119.909	152.404	317.00			
1920 x 1080@240 Hz	1920 x 1080_240	240.000	270.000	594			
3840 x 2160	3840 x 2160_30 4K2K モデル用	30	67.5	297			
3840 x 2160	3840 x 2160_60 4K2K モデル用	60	135	594			
## 3840 x 2160	3840 x 2160_120 4K2K モデル用	120	270	1188			



- ・▲：3D 形式の自動検出および手動設定に対応します。
- ・V：3D 形式の手動設定に対応します。
- ・##：HDMI 1 入力ポートのみ 2160/120P に対応します。
- ・上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

・ビデオ タイミング

タイミング	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック周波数 (MHz)	対応 3D 形式			
					F. シーケンシャル	フレームパッキング	上 - 下	サイドバイサイド
480i	720 (1440) x 480	15.73	59.94	27				
480p	720 x 480	31.47	59.94	27				
576i	720 (1440) x 576	15.63	50	27				
576p	720 x 576	31.25	50	27				
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25		▲	▲	▲
720/60p	1280 x 720	45.00	60	74.25	V	▲	▲	▲
1080/24P	1920 x 1080	27	24	74.25		▲	▲	▲
1080/25P	1920 x 1080	28.13	25	74.25				
1080/30P	1920 x 1080	33.75	30	74.25				
1080/50i	1920 x 1080	28.13	50	74.25				▲
1080/60i	1920 x 1080	33.75	60	74.25				▲
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50	148.5			▲	
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60	148.5	V		▲	▲
1080/120p	1920 x 1080	135	120	297				
1080/240p	1920 x 1080	270	240	594				
2160/24P	3840 x 2160	54	24	297				
2160/25P	3840 x 2160	56.25	25	297				
2160/30P	3840 x 2160	67.5	30	297				
2160/50P	3840 x 2160	112.5	50	594				
2160/60P	3840 x 2160	135	60	594				
## 2160/120P	3840 x 2160	270	120	1188				



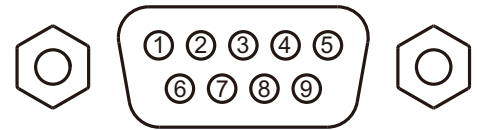
- ・▲：3D 形式の自動検出および手動設定に対応します。
- ・V：3D 形式の手動設定に対応します。
- ・##：HDMI 1 入力ポートのみ 2160/120P に対応します。
- ・上記のタイミングは、EDID ファイルと VGA グラフィック カードの制限により、サポートされない場合があります。一部のタイミングを選択できない場合もあります。

RS232 コマンド

RS232 ピン割り当て

番号	シリアル
1	NC
2	RX
3	TX
4	NC
5	GND

番号	シリアル
6	NC
7	RTSZ
8	CTSZ
9	NC



機能	タイプ	操作	ASCII
電源	ライト	電源オン	<CR>*pow=on#<CR>
	ライト	パワーオフ	<CR>*pow=off#<CR>
	リード	電源状態	<CR>*pow=?#<CR>
ソース選択	ライト	HDMI 1(MHL)	<CR>*sour=hdmi#<CR>
	ライト	HDMI 2(MHL2)	<CR>*sour=hdmi2#<CR>
	ライト	HDMI 3(ATV)	<CR>*sour=hdmi3#<CR>
	ライト	USB Reader	<CR>*sour=usbreader#<CR>
	リード	現在のソース	<CR>*sour=?#<CR>
音声制御	ライト	ミュートオン	<CR>*mute=on#<CR>
	ライト	ミュートオフ	<CR>*mute=off#<CR>
	リード	ミュートの状態	<CR>*mute=?#<CR>
	ライト	音量 +	<CR>*vol=+#<CR>
	ライト	音量 -	<CR>*vol=-#<CR>
	ライト	観客用音量レベル	<CR>*vol=value#<CR>
	リード	音量の状態	<CR>*vol=?#<CR>
ピクチャモード	ライト	高輝度	<CR>*appmod=bright#<CR>
	ライト	明るいシネマ	<CR>*appmod=brightcine#<CR>
	ライト	FILMMAKER MODE	<CR>*appmod=filmmaker#<CR>
	ライト	シネマ (Rec.709)	<CR>*appmod=cine#<CR>
	ライト	ユーザー設定 1	<CR>*appmod=user1#<CR>
	ライト	ISF Day	<CR>*appmod=isfday#<CR>
	ライト	ISF Night	<CR>*appmod=isfnight#<CR>
	ライト	3D	<CR>*appmod=threed#<CR>
	ライト	HDR10	<CR>*appmod=hdr#<CR>
	ライト	HLG	<CR>*appmod=hlg#<CR>
	リード	ピクチャモード	<CR>*appmod=?#<CR>

画像設定	ライト	コントラスト +	<CR>*con=+#<CR>
	ライト	コントラスト -	<CR>*con=-#<CR>
	ライト	コントラスト値を設定	<CR>*con=value#<CR>
	リード	コントラスト値	<CR>*con=?#<CR>
	ライト	輝度 +	<CR>*bri=+#<CR>
	ライト	輝度 -	<CR>*bri=-#<CR>
	ライト	明度値を設定	<CR>*bri=value#<CR>
	リード	明度値	<CR>*bri=?#<CR>
	ライト	色 +	<CR>*color=+#<CR>
	ライト	色 -	<CR>*color=-#<CR>
	ライト	色値を設定	<CR>*color=value#<CR>
	リード	色値	<CR>*color=?#<CR>
	ライト	シャープネス +	<CR>*sharp=+#<CR>
	ライト	シャープネス -	<CR>*sharp=-#<CR>
	ライト	シャープネス値を設定	<CR>*sharp=value#<CR>
	リード	シャープネス値	<CR>*sharp=?#<CR>
	ライト	肌色 +	<CR>*fleshtone=+#<CR>
	ライト	肌色 -	<CR>*fleshtone=-#<CR>
	ライト	肌色の値を設定	<CR>*fleshtone=value#<CR>
	リード	肌色の値	<CR>*fleshtone=?#<CR>
	ライト	色温度 - 暖色	<CR>*ct=warm#<CR>
	ライト	色温度 - ノーマル	<CR>*ct=normal#<CR>
	ライト	色温度 - 寒色	<CR>*ct=cool#<CR>
	ライト	色温度 - ランプのネイティブ	<CR>*ct=native#<CR>
	リード	色温度の状態	<CR>*ct=?#<CR>
	ライト	アスペクト比 4:3	<CR>*asp=4:3#<CR>
	ライト	アスペクト比 16:9	<CR>*asp=16:9#<CR>
	ライト	アスペクト比 2.4:1	<CR>*asp=2.4#<CR>
	ライト	自動アスペクト比	<CR>*asp=AUTO#<CR>
	リード	アスペクト比の状態	<CR>*asp=?#<CR>
	ライト	縦キートーン +	<CR>*vkeystone=+#<CR>
	ライト	縦キートーン -	<CR>*vkeystone=-#<CR>
	リード	縦台形補正值	<CR>*vkeystone=?#<CR>
	ライト	横台形補正 +	<CR>*hkeystone=+#<CR>
	ライト	横台形補正 -	<CR>*hkeystone=-#<CR>
	リード	横台形補正值	<CR>*hkeystone=?#<CR>
	ライト	現在のピクチャ設定をリセット	<CR>*rstcurpicsetting#<CR>

操作設定	ライト	プロジェクターの投写位置 - 前面投写	<CR>*pp=FT#<CR>
	ライト	プロジェクターの投写位置 - リア投写	<CR>*pp=RE#<CR>
	ライト	プロジェクターの投写位置 - 天井リア投写	<CR>*pp=RC#<CR>
	ライト	プロジェクターの投写位置 - 天井前面投写	<CR>*pp=FC#<CR>
	リード	プロジェクターの投写位置の状態	<CR>*pp=?#<CR>
	ライト	クイック自動検索	<CR>*QAS=on#<CR>
	ライト	クイック自動検索	<CR>*QAS=off#<CR>
	リード	クイック自動検索の状態	<CR>*QAS=?#<CR>
	ライト	メニュー位置 - 中央	<CR>*menuposition=center#<CR>
	ライト	メニュー位置 - 左上	<CR>*menuposition=tl#<CR>
	ライト	メニュー位置 - 右上	<CR>*menuposition=tr#<CR>
	ライト	メニュー位置 - 右下	<CR>*menuposition=br#<CR>
	ライト	メニュー位置 - 左下	<CR>*menuposition=bl#<CR>
	リード	メニュー位置の状態	<CR>*menuposition=?#<CR>
	ライト	ダイレクト電源オン - オン	<CR>*directpower=on#<CR>
	ライト	ダイレクト電源オン - オフ	<CR>*directpower=off#<CR>
	リード	ダイレクト電源オン - 状態	<CR>*directpower=?#<CR>
	ライト	スタンバイ設定 - ネットワーク オン	<CR>*standbynet=on#<CR>
	ライト	スタンバイ設定 - ネットワーク オフ	<CR>*standbynet=off#<CR>
	リード	スタンバイ設定 - ネットワーク状態	<CR>*standbynet=?#<CR>
ボーレート	ライト	9600	<CR>*baud=9600#<CR>
	ライト	14400	<CR>*baud=14400#<CR>
	ライト	19200	<CR>*baud=19200#<CR>
	ライト	38400	<CR>*baud=38400#<CR>
	ライト	57600	<CR>*baud=57600#<CR>
	ライト	115200	<CR>*baud=115200#<CR>
	リード	現在のボーレート	<CR>*baud=?#<CR>
ランプ制御	リード	ランプ	<CR>*ltim=?#<CR>
	ライト	ノーマル モード	<CR>*lampm=lnor#<CR>
	ライト	Eco モード	<CR>*lampm=eco#<CR>
	ライト	SmartEco モード	<CR>*lampm=seco#<CR>
	ライト	カスタムモード	<CR>*lampm=custom#<CR>
	ライト	カスタムモード用のライトレベル	<CR>*lampcustom=value#<CR>
	リード	カスタムモード用のライトレベルの状態	<CR>*lampcustom=?#<CR>
	リード	ランプモードの状態	<CR>*lampm=?#<CR>

その他	リード	型番	<CR>*modelName=?#<CR>
	リード	システム ファームウェアバージョン	<CR>*sysfwversion=?#<CR>
	リード	スケーラー ファームウェアバージョン	<CR>*scalerrfwversion=?#<CR>
	リード	フォーマット ファームウェアバージョン	<CR>*formatfwversion=?#<CR>
	リード	LAN ファームウェアバージョン	<CR>*lanfwversion=?#<CR>
	リード	MCU ファームウェアバージョン	<CR>*mcufwversion=?#<CR>
	ライト	消画オン	<CR>*blank=on#<CR>
	ライト	消画オフ	<CR>*blank=off#<CR>
	リード	消画の状態	<CR>*blank=?#<CR>
	ライト	メニューオン	<CR>*menu=on#<CR>
	ライト	メニューオフ	<CR>*menu=off#<CR>
	リード	メニューの状態	<CR>*menu=?#<CR>
	ライト	上	<CR>*up#<CR>
	ライト	下	<CR>*down#<CR>
	ライト	右	<CR>*right#<CR>
	ライト	左	<CR>*left#<CR>
	ライト	入力	<CR>*enter#<CR>
	ライト	戻る	<CR>*back#<CR>
	ライト	ソースメニュー オン	<CR>*sourmenu=on#<CR>
	ライト	ソースメニュー オフ	<CR>*sourmenu=off#<CR>
	リード	ソースメニューの状態	<CR>*sourmenu=?#<CR>
	ライト	3D 同期オフ	<CR>*3d=off#<CR>
	ライト	3D 自動	<CR>*3d=auto#<CR>
	ライト	3D 同期上 - 下	<CR>*3d=tb#<CR>
	ライト	3D 同期フレームシーケンシャル	<CR>*3d=fs#<CR>
	ライト	3D フレーム パッキング	<CR>*3d=fp#<CR>
	ライト	3D サイドバイサイド	<CR>*3d=sbs#<CR>
	ライト	3D インバーター無効	<CR>*3d=da#<CR>
	ライト	3D インバーター	<CR>*3d=iv#<CR>
	リード	3D 同期の状況	<CR>*3d=?#<CR>
	ライト	AMX デバイス検出 - オン	<CR>*amxdd=on#<CR>
	ライト	AMX デバイス検出 - オフ	<CR>*amxdd=off#<CR>
	リード	AMX デバイス検出状態	<CR>*amxdd=?#<CR>
	リード	Mac アドレス	<CR>*macaddr=?#<CR>
	ライト	高地モードオン	<CR>*Highaltitude=on#<CR>
	ライト	高地モードオフ	<CR>*Highaltitude=off#<CR>
	リード	高地モードの状態	<CR>*Highaltitude=?#<CR>

色調整 (補修専用)	ライト	色合い +	<CR>*tint=+#<CR>
	ライト	色合い -	<CR>*tint=-#<CR>
	ライト	色合い値を設定	<CR>*tint=value#<CR>
	リード	色合い値を取得	<CR>*tint=?#<CR>
	ライト	BenQ ガンマ値を設定	<CR>*gamma=value#<CR>
	リード	ガンマ値の状態	<CR>*gamma=?#<CR>
	ライト	HDR 輝度値を設定	<CR>*hdrbri=value#<CR>
	リード	HDR 輝度値を取得	<CR>*hdrbri=?#<CR>
	ライト	赤ゲイン +	<CR>*RGain=+#<CR>
	ライト	赤ゲイン -	<CR>*RGain=-#<CR>
	ライト	赤ゲイン値を設定	<CR>*RGain=value#<CR>
	リード	赤ゲイン値を取得	<CR>*RGain=?#<CR>
	ライト	緑ゲイン +	<CR>*GGain=+#<CR>
	ライト	緑ゲイン -	<CR>*GGain=-#<CR>
	ライト	緑ゲイン値を設定	<CR>*GGain=value#<CR>
	リード	緑ゲイン値を取得	<CR>*GGain=?#<CR>
	ライト	青ゲイン +	<CR>*BGain=+#<CR>
	ライト	青ゲイン -	<CR>*BGain=-#<CR>
	ライト	青ゲイン値を設定	<CR>*BGain=value#<CR>
	リード	青ゲイン値を取得	<CR>*BGain=?#<CR>
	ライト	赤オフセット +	<CR>*ROffset=+#<CR>
	ライト	赤オフセット -	<CR>*ROffset=-#<CR>
	ライト	赤オフセット値を設定	<CR>*ROffset=value#<CR>
	リード	赤オフセット値を取得	<CR>*ROffset=?#<CR>
	ライト	緑オフセット +	<CR>*GOffset=+#<CR>
	ライト	緑オフセット -	<CR>*GOffset=-#<CR>
	ライト	緑オフセット値を設定	<CR>*GOffset=value#<CR>
	リード	緑オフセット値を取得	<CR>*GOffset=?#<CR>
	ライト	青オフセット +	<CR>*BOffset=+#<CR>
	ライト	青オフセット -	<CR>*BOffset=-#<CR>
	ライト	青オフセット値を設定	<CR>*BOffset=value#<CR>
	リード	青オフセット値を取得	<CR>*BOffset=?#<CR>
	ライト	原色	<CR>*primcr=value#<CR>
	リード	原色の状態	<CR>*primcr=?#<CR>
	ライト	色相値を設定	<CR>*hue=value#<CR>
	リード	色相値を取得	<CR>*hue=?#<CR>
	ライト	彩度値を設定	<CR>*saturation =value#<CR>
	リード	彩度値を取得	<CR>*saturation =?#<CR>
	ライト	ゲイン値を設定	<CR>*gain=value#<CR>
	リード	ゲイン値を取得	<CR>*gain=?#<CR>
補修 (補修専用)	ライト	エラーレポート向けに補修モード有効化	<CR>*error=enable#<CR>
	リード	エラーコード レポート	<CR>*error=report#<CR>
	リード	ファン 1 速度	<CR>*fan1=?#<CR>
	リード	ファン 2 速度	<CR>*fan2=?#<CR>
	リード	ファン 3 速度	<CR>*fan3=?#<CR>
	リード	温度 1	<CR>*tmp1=?#<CR>
	リード	LED インジケータ	<CR>*led=?#<CR>